



福山市公園整備基本方針（案）

2025 年（令和 7 年）4 月



目 次

第1章 基本事項

1-1 基本方針策定の背景と目的	1
1-2 基本方針の位置づけ	1
1-3 対象公園	1

第2章 公園の現状

2-1 公園の整備状況	2
2-2 公園施設の状況	7
2-3 公園の維持管理状況	9
2-4 公園の利用状況	10
2-5 公園の問題点	14

第3章 公園の新たな役割

3-1 まちづくりの視点から公園に期待すること	15
3-2 新たな時代における公園の役割	16

第4章 課題の整理

4-1 公園の課題	17
4-2 まちの課題	17
4-3 課題解決の方向性	18

第5章 基本方針

5-1 めざす姿	19
5-2 取組の方向性	20
5-3 公園分類ごとの方向性	22
5-4 推進施策	23

第6章 めざす姿の実現に向けて

6-1 推進体制	26
6-3 方針の効果検証	26

資料編

1. 検討会議等
2. 実証実験
3. 柔軟な利活用の取組み
4. RE : Park-Meeting
5. ニーズ調査

第 1 章 基本事項

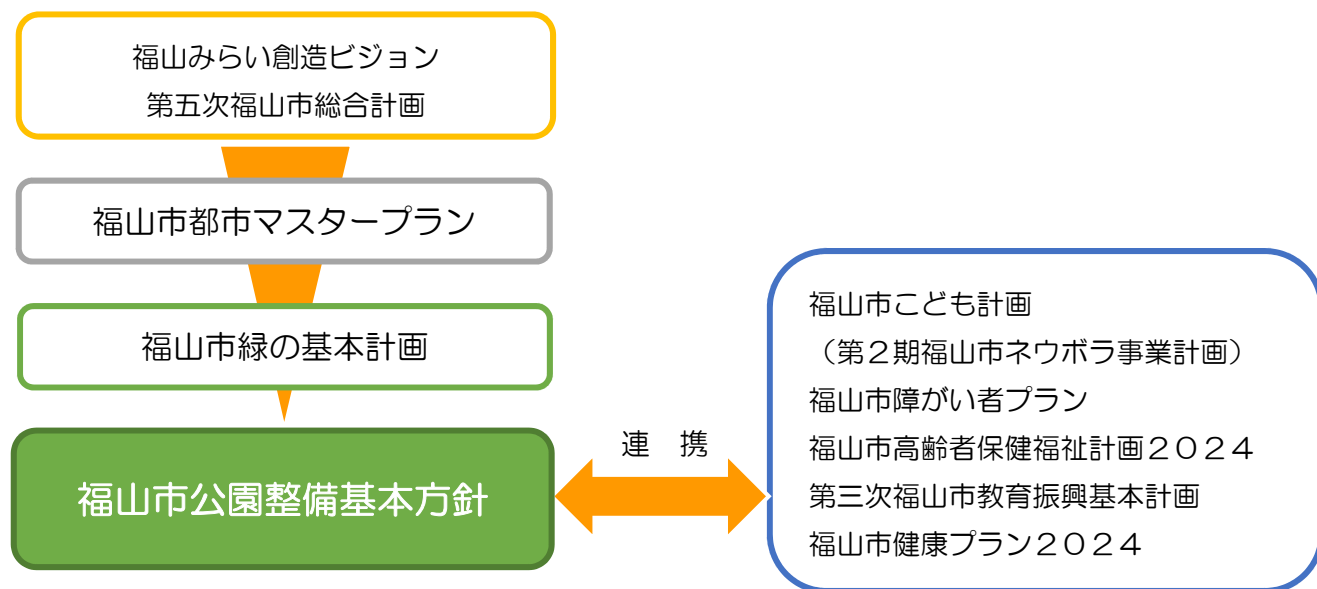
1－1 基本方針策定の背景と目的

本市には現在、約 700 か所の公園が整備されており、こどもの遊び場、健康づくり、市民のスポーツや自然体験の場として、多くの人々に親しまれています。しかし、近年のライフスタイルの多様化や価値観の変化により、公園に求められる役割も変わりつつあります。これからの公園は、単なる憩いの場を超えて、地域コミュニティの核となり、人々が集まり新たなつながりを生む場として、その可能性を最大限に発揮することが期待されています。

こうしたことを踏まえ、本市では「福山市公園整備基本方針」を策定しました。本方針では、地域住民や関係団体、市民団体、企業、学校など多様なパートナーと連携し、公園を地域の個性を生かして共に育て、持続的に活用・管理するための考え方を示しています。本方針に基づき、公園をまちの未来を支える重要な資産として育てる取組を進めていきます。

1－2 基本方針の位置づけ

本方針は、「福山みらい創造ビジョン」を上位計画とし、他の関連計画とも連携を図ります。



1－3 対象公園

本方針の対象は都市公園とします。

なお、本市には森林公園や自然公園など、都市公園以外の公園も存在しています。それらの公園の役割や特性も考慮し、都市公園との連携を図ることとします。

第2章 公園の現状

2-1 公園の整備状況

(1) 公園の種別と設置数

市内には、計719か所の都市公園があります。その内、631か所(87.8%)が街区公園であり、比較的小規模な公園が多くを占めています。

都市公園の種類・設置数

種別	設置数	概要	公園の例
街区公園	631	街区に居住する方の利用を目的とする公園(誘致距離250m)	身近にある小さな公園
近隣公園	20	近隣に居住する方の利用を目的とする公園(誘致距離500m)	総合体育館公園、ばら公園など
地区公園	3	主として徒歩圏内に居住する方の利用を目的とする公園(誘致距離1km)	福山メリアルパーク、吉野山公園など
総合公園	5	市民全般の利用を目的とする公園	春日池公園、緑町公園など
運動公園	2	市民全般の主として運動利用を目的とする公園	竹ヶ端運動公園、大佐山運動公園
特殊公園	7	動植物公園など、目的や立地が制限される公園	ファミリーパーク、富谷公園など
広場公園	1	市街地の中心部において、都市景観の向上に資することを目的とする公園	入船交流広場
都市緑地	50	自然環境の保全、都市の景観の向上を図るために設けられた緑地	芦田川緑地、かわまち広場など

2024年(令和6年)3月現在

公園面積別の整備状況



(2) 中核市との比較

本市と同規模の中核市と比較すると、都市公園数や街区公園数、街区公園の総面積は平均を上回っていますが、都市公園全体の総面積や1人当たりの公園面積は平均を下回っています。このことから、本市には、小規模な公園が比較的多く配置されている特徴があります。

中核市との比較

2023年(令和5年)3月時点

項目	単位	福山市		金沢市	豊田市	倉敷市	松山市	大分市
		数値	順位					
都市計画区域内の人口	千人	446	4	443	397	475	496	464
都市計画区域の面積	km ²	336	4	223	356	354	214	361
都市公園の数	か所	714	3	586	191	867	336	797
都市公園の合計面積	km ²	3.14	6	5.95	4.69	3.94	3.93	7.02
街区公園の数	か所	626	2	455	134	801	202	588
街区公園の合計面積	km ²	0.88	4	1.05	0.39	0.94	0.42	1.09
1人当たり公園面積	(m ² /人)	7.0	6	13.4	11.8	8.3	7.9	15.1

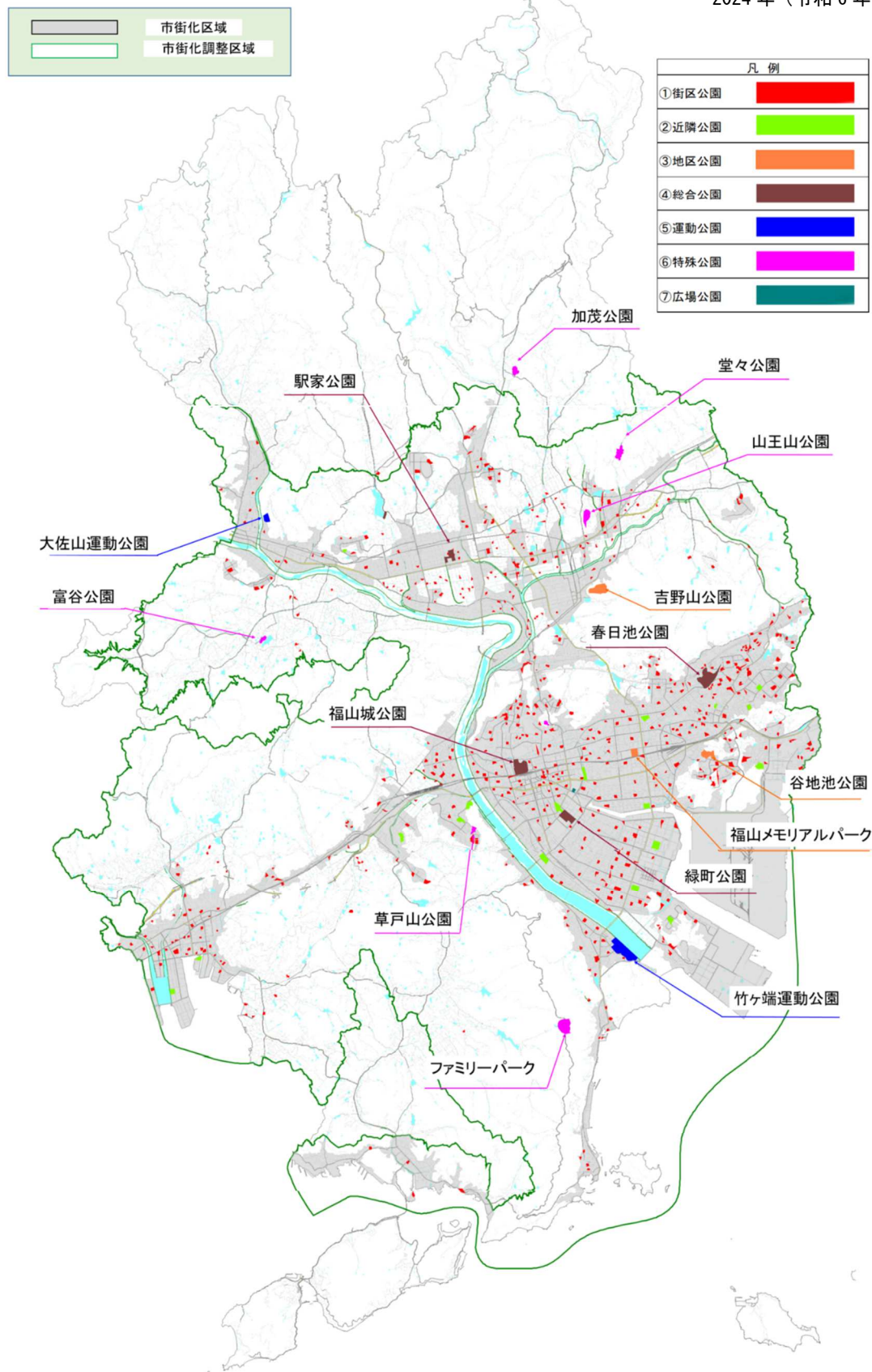
※同規模とは、都市計画区域の面積及び同区域内の人口が同規模とします。

(3) 公園の配置状況

街区公園が市内の各所に多く配置されていることが分かります。特に市街化調整区域における開発行為に伴う小規模な公園が多く、市街化区域内に近隣公園以上のまとまった規模の公園が少ない状況です。

都市公園の配置状況

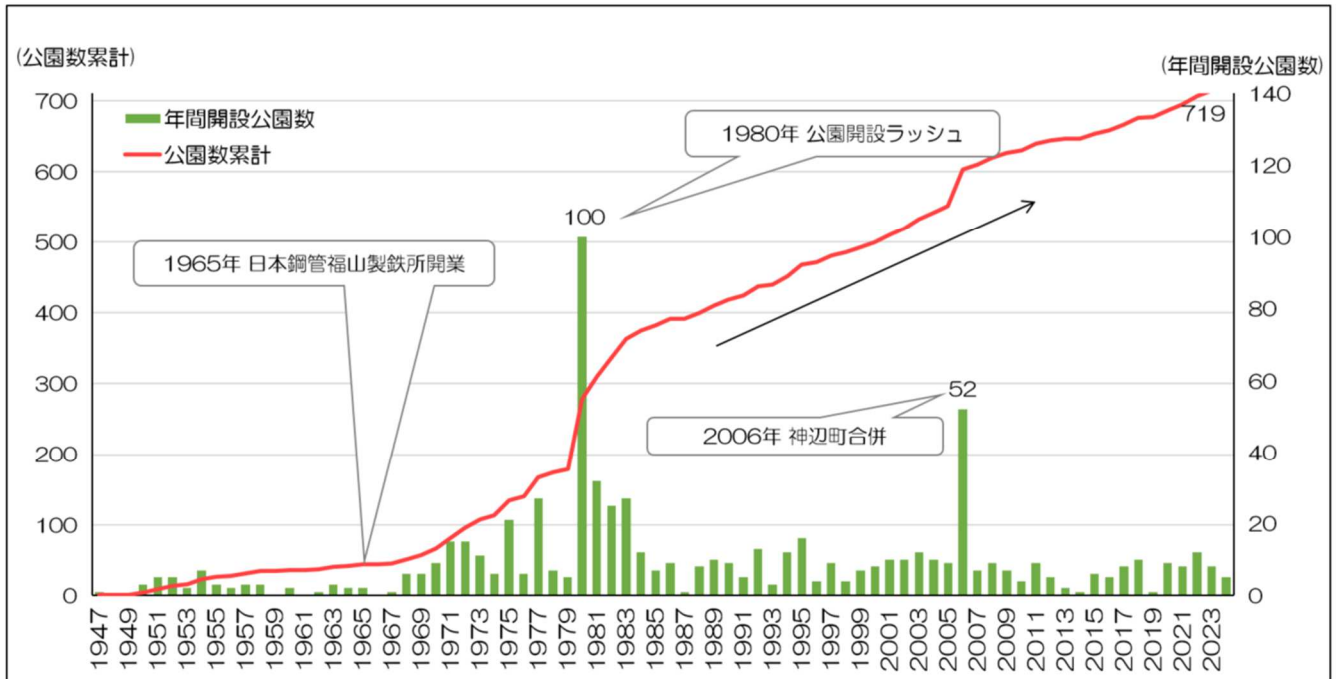
2024 年（令和 6 年）3 月時点



(4) 都市公園数の推移

本市の公園整備は、1965 年（昭和 40 年）の日本鋼管福山製鉄所の開業以降、人口増加に伴って進められてきました。特に 1980 年（昭和 55 年）には、市内各地で進められていた区画整理事業が完了し、公園の整備が大きく進展しました。また、2006 年（平成 18 年）には、神辺町との合併により、公園数が大幅に増加しました。

都市公園数の推移



（５）公園の特徴

総合公園や地区公園のような規模の大きな公園は、施設が充実しており、多目的に利用されています。これらの公園は、地域住民だけでなく、市外からの来訪者にも親しまれており、観光地としての役割も果たしています。

一方で、街区公園など地域に密着した小さな公園には、滑り台やブランコなどの単体遊具が設置されており、主にこどもの遊び場や地域住民の憩いの場として利用されています。

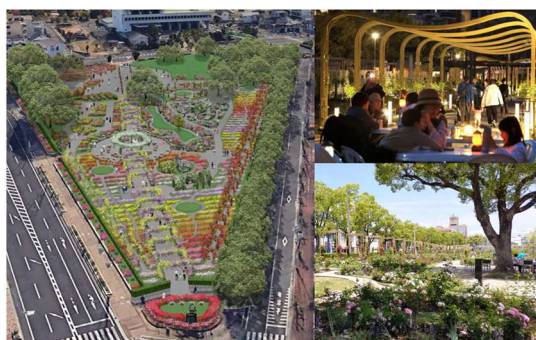
大きな公園の例



緑町公園（総合公園）



福山メモリアルパーク（地区公園）



ばら公園（近隣公園）



総合体育館公園（近隣公園）

小さな公園の例



一般的な街区公園



開発行為による面積の小さい街区公園

(6) 公園の利用実態

市内の公園は、こどもの遊び場や健康づくりの場として日常的に利用されるだけでなく、公園の規模や特性に応じて多様な用途で活用されています。

大きな公園では、大規模なイベントの開催に加え、歴史・観光・自然を楽しむ場として多くの人を訪れています。その魅力を活かし、民間の力を取り入れた賑わい創出の取組も進められています。

小さな公園では、朝は高齢者がグラウンドゴルフを楽しみ、日中は若いこどもの遊び場、夕方には小中学生の遊び場として利用されるなど、時間帯ごとに異なる使われ方をしています。また、地域のイベントやばら花壇の整備といった活動の場としても利用され、地域コミュニティの活性化にもつながっています。その一方で、街区公園の中には、周辺環境の変化により、あまり利用されていない公園もあります。

代表的な公園の利用状況



大規模イベントによる活用(福山ばら祭り)

緑町公園（総合公園）



歴史的地域資源の活用

福山城公園（総合公園）



民間ノウハウを活用した利活用 (Park-PFI)

中央公園（近隣公園）



官民連携による河川空間の利活用

芦田川緑地かわまち広場（都市緑地）



日常的なこどもの遊び場としての活用

街区公園



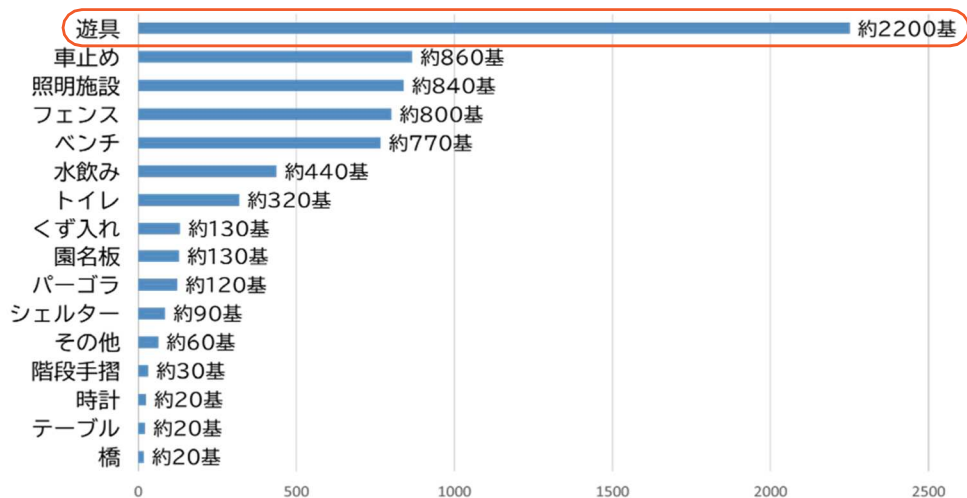
ばら花壇による地域交流の場としての活用

街区公園

2-2 公園施設の状況

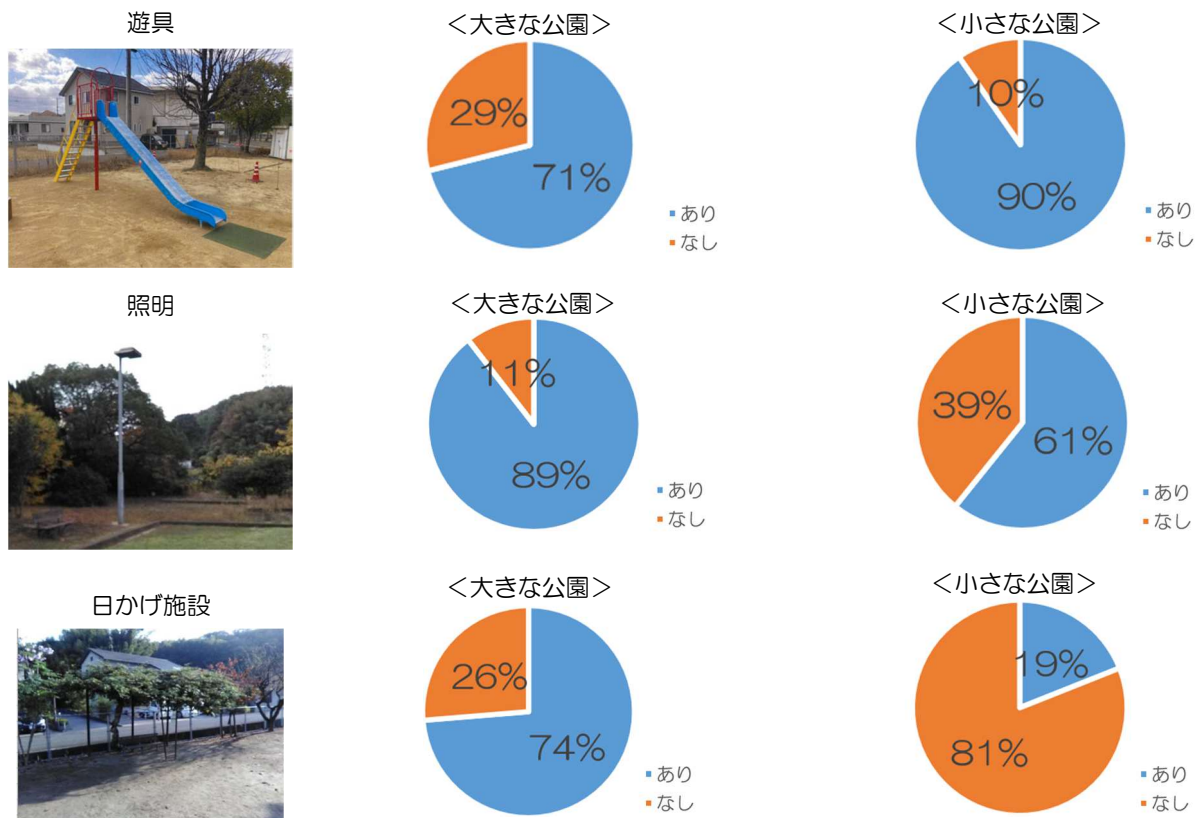
(1) 施設の種類と設置数

公園には、約 6,900 基の施設があり、その中でも遊具が約 2,200 基と最も多く設置されています。



(2) 公園施設の設置率

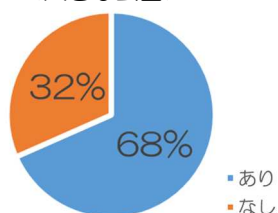
各施設が設置されている公園の割合をグラフで示しています。規模の大きな公園ほど、施設が充実していることがわかります。小さな公園では、約9割に遊具が設置されています。



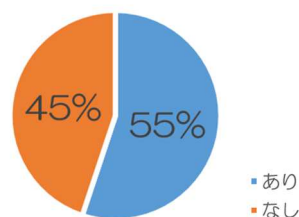
水道施設



<大きな公園>



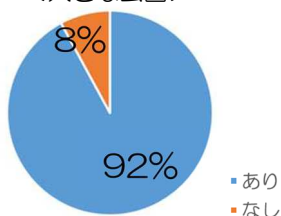
<小さな公園>



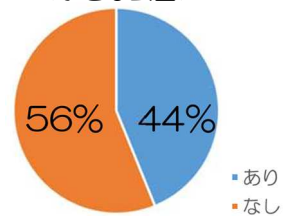
トイレ



<大きな公園>



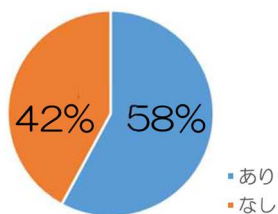
<小さな公園>



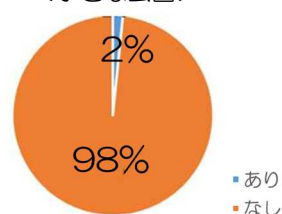
多目的トイレ



<大きな公園>

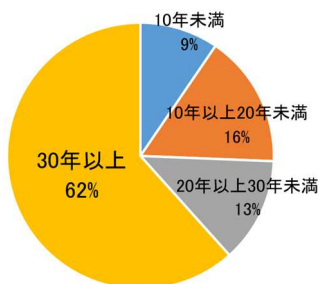


<小さな公園>



(3) 施設の老朽化

公園施設の約6割が設置から30年以上経過しており、老朽化が進んでいます。老朽化した施設は美観を損なうだけでなく、安全面にも影響を及ぼすため、適切な修繕・更新が求められます。また、近年では、バリアフリー化や遊具の安全性向上へのニーズが高まっており、時代に即した対応が必要です。



公園設置からの経過年数



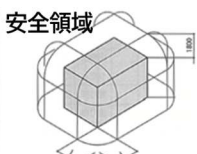
老朽化フェンス



老朽化遊具

老朽化施設の例

安全規準(構造・安全領域)を満たしていない遊具(ハザード3遊具)の基準に適合するため、修繕や更新が必要となります。地域と協議したうえで撤去する場合があります。



遊具の安全基準への対応

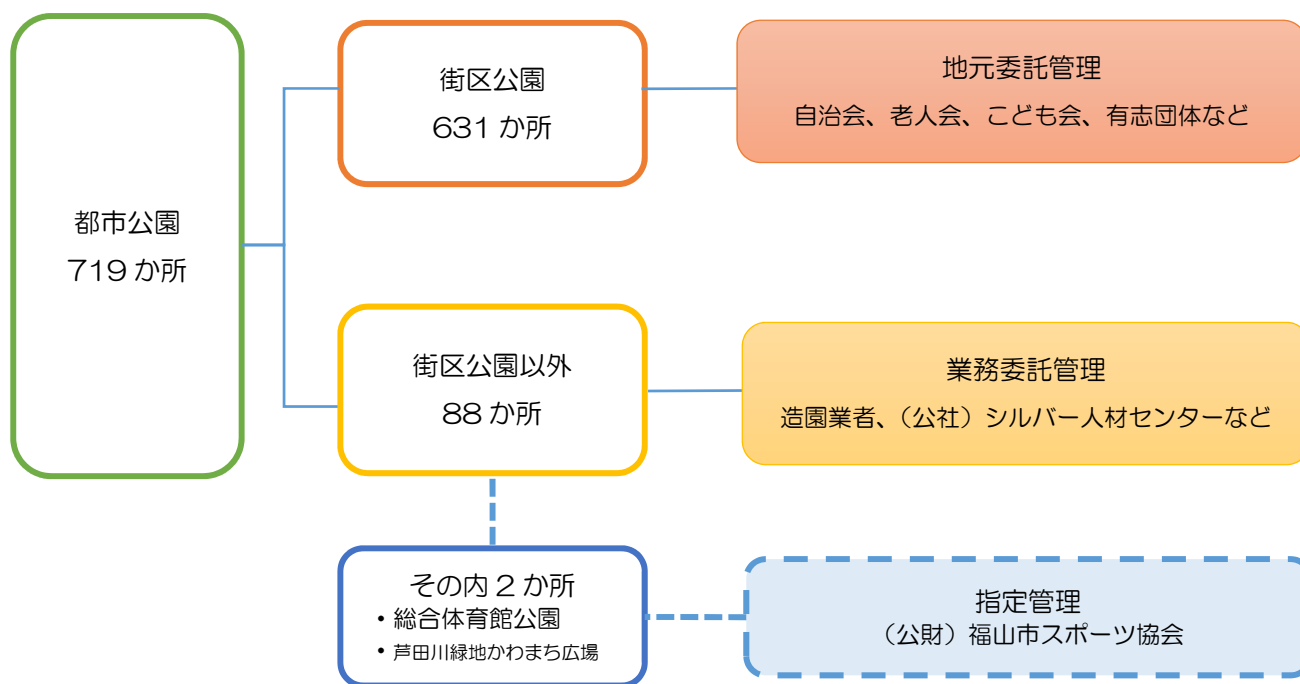


バリアフリーストイル

2－3 公園の維持管理状況

(1) 維持管理状況

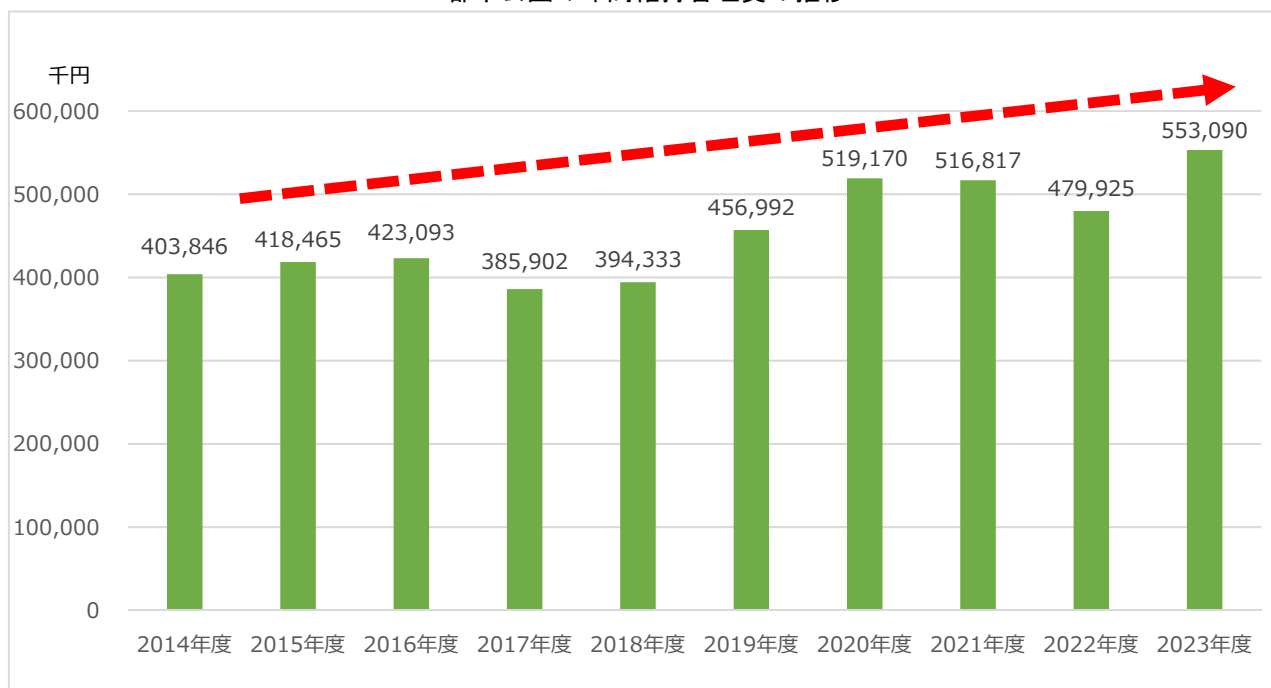
街区公園は、自治会など地域住民の協力により管理が行われており、それ以外の公園は業者に管理を委託しています。



(2) 維持管理費

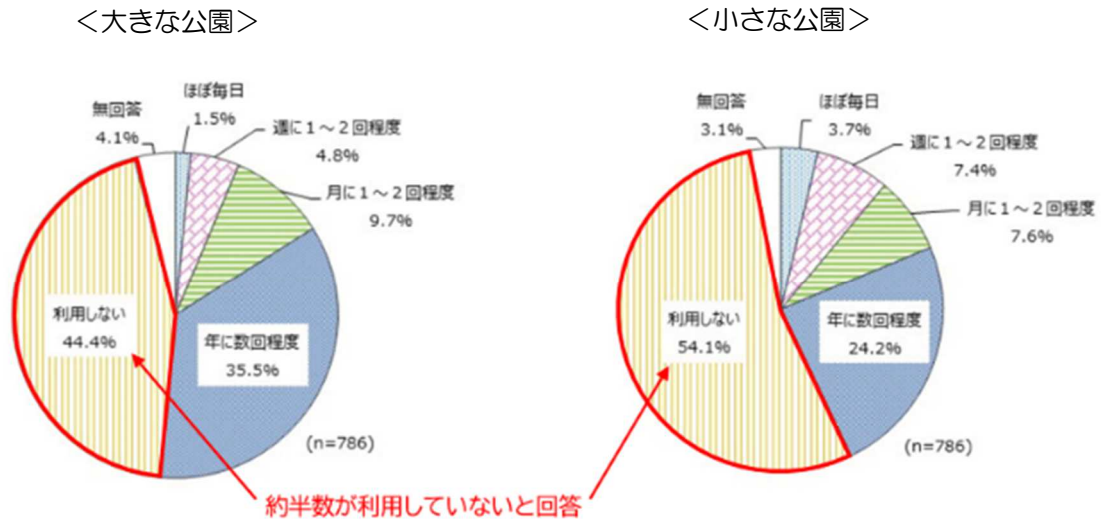
公園の維持管理費は、施設の老朽化に伴い、増加傾向にあります。

都市公園の年間維持管理費の推移



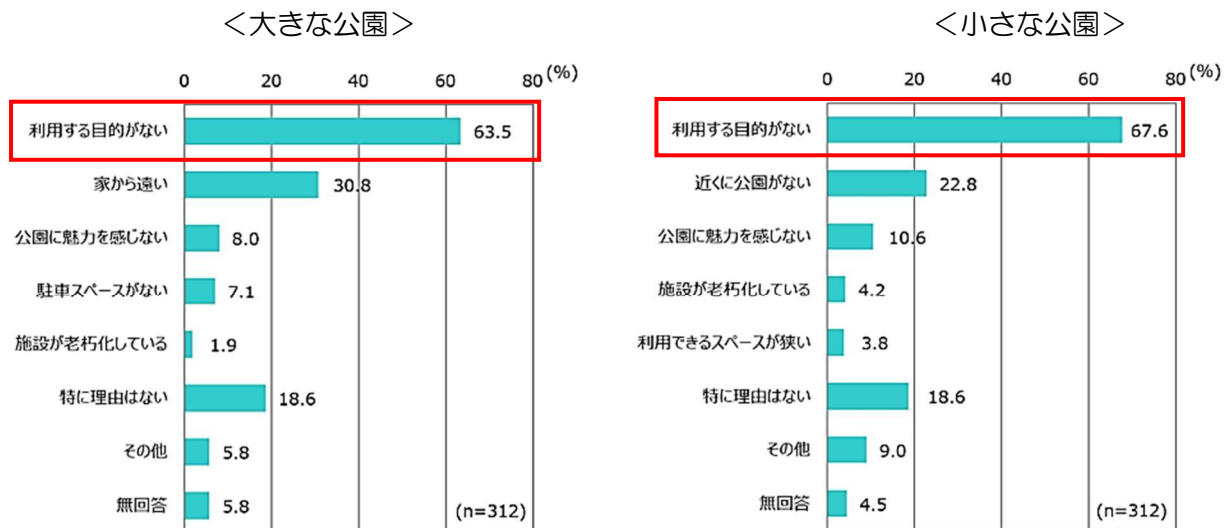
2-4 公園の利用状況

(1) 利用状況（2024年度（令和6年度） 公園利用者アンケート調査より）
「大きな公園」「小さな公園」共に、約半数が「利用しない」と回答しています。



(2) 公園を利用しない理由

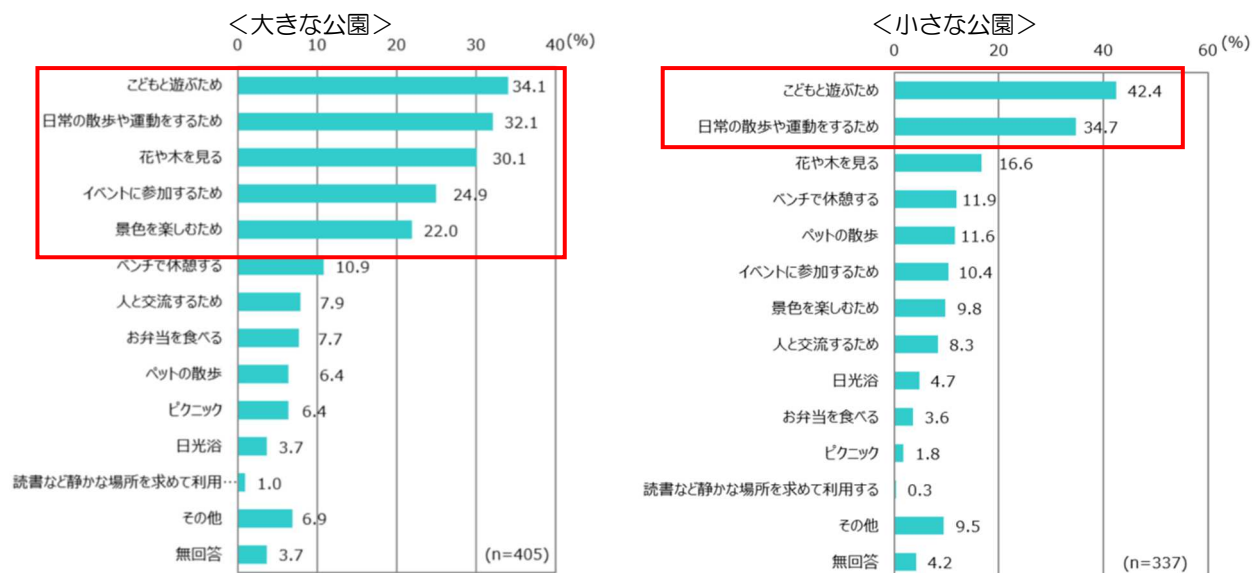
「利用する目的がない」が突出して多く、次いで、「近くに公園がない」、「家から遠い」などアクセスが悪いことが理由として挙がっています。



「利用しない」と答えた人の多くは、「公園を利用する目的がない」と感じています。その背景には、価値観やライフスタイルが多様化する中で、日常の暮らしの中で従来型の公園の必要性が低下していることが考えられます。こうした背景の下、官民連携による新たな公園の利活用を促すことや、その情報を効果的に発信することが重要と考えられます。

(3) 公園を利用する目的

「大きな公園」「小さな公園」共に、こどもと遊ぶ、日常の運動、花や木を見るといった目的が上位に挙がっています。「大きな公園」は、多目的に利用される傾向がある一方で、「小さな公園」は、こどもと遊ぶ、日常の散歩など、特定の目的で利用される割合が高いことがわかります。



(4) 公園に期待する役割

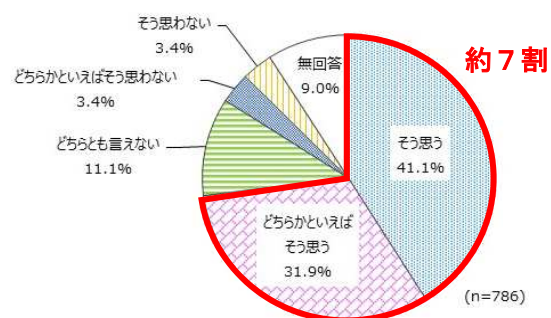
「大きな公園」「小さな公園」共に「こどもが遊ぶ場所」としての役割が最も多く、特に「小さな公園」では、その傾向が顕著となっています。また、「大きな公園」では「災害時の避難場所」、「小さな公園」では「地域コミュニティ形成の場」が比較的多くなっています。



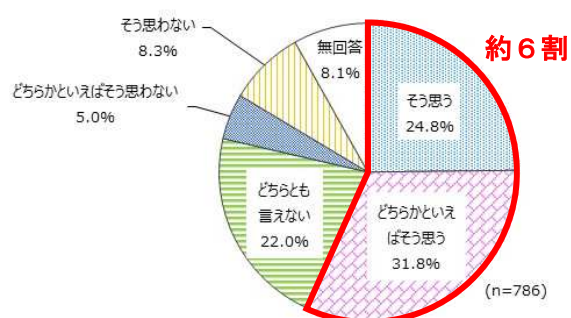
利用する目的や期待する役割から、「公園＝こどもの遊び場」という意識が強いことがわかります。公園は、こどもの遊びや成長にとって重要な場所であり、特に「小さな公園」では、これまで遊具の整備が進められてきました。そのため、公園の利用目的が限定され、活用の幅が狭まっていることが考えられます。少子高齢化の進展により、公園が健康づくりに活用されていることや市民の防災意識が高まっていることなどを踏まえ、活用の幅を広げ、誰もが集える「居場所」とすることが重要と考えられます。

(5)「小さな公園」の新しい活用

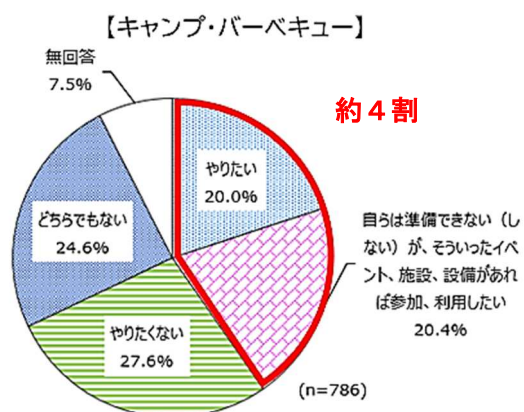
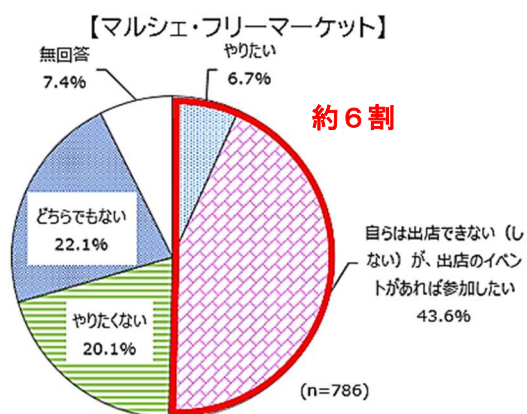
「地域のニーズを把握した上で、特色ある公園整備を進めることが公園の利用促進につながると考えますか？」というアンケートでは、約7割の回答者が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答されました。



また、「地域が管理する公園は、地域で利用方法を決めていきたいと思いませんか？」というアンケートでは、約6割の回答者が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答されました。



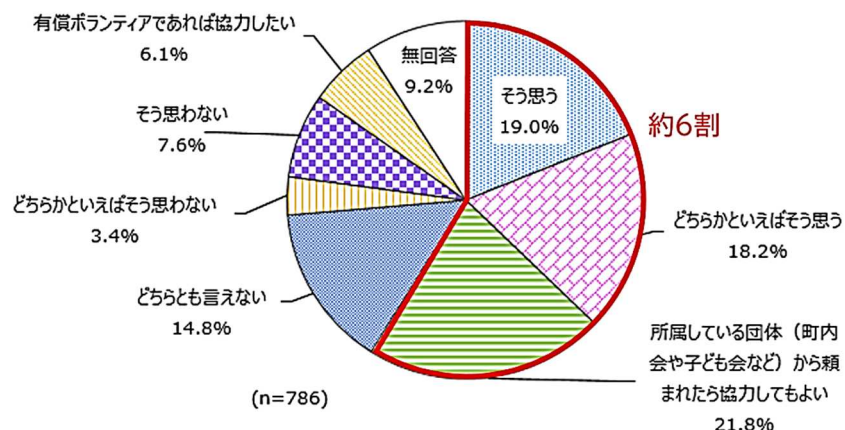
キャンプやバーベキューなどの新たな活用についても、前向きな回答が多いことがわかります。



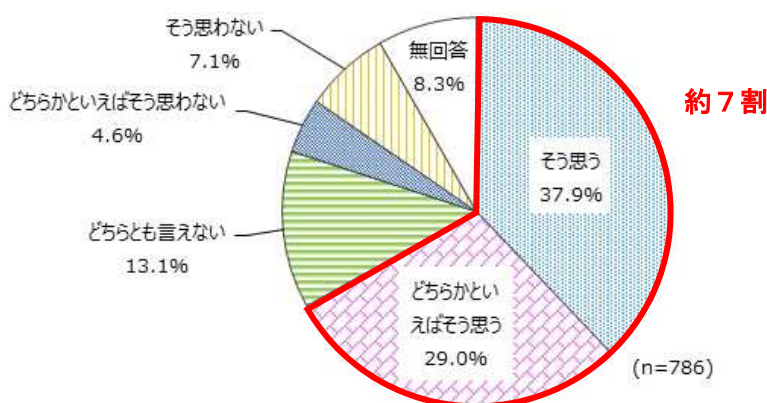
地域のニーズを反映した公園の整備や運営を求める声が多く、特に「小さな公園」ほど、住民が公園運営に関わりたいと考えていることがわかります。また、キャンプやバーベキューなどの新たな活用への関心も高く、公園の役割は、従来の遊び場や憩いの場にとどまらず、より多様な用途へと広がっていることがわかります。

(6) 公園の維持管理について

「あなたがよく利用する公園の管理（除草や清掃など）を頼まれた場合、協力したいと思いますか？」というアンケートでは、約6割の人が協力に前向きであることがわかりました。



また、「大きな公園」にカフェやコンビニを設置するなど、民間事業者との連携を通じて収益を確保し、民間投資を呼び込む取組を進め、その収益を維持管理費に充てる仕組みを今後検討する必要があると思いますか？というアンケートでは、約7割の人が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答しました。



公園管理に協力的な意見がある一方で、管理の負担を軽減するためには民間活力を活用した効率的な管理も必要だと考えられます。そのため、公園の種類や規模に応じて、地域と民間事業者の力を効率的に組み合わせた、持続可能な維持管理の仕組みを構築することが必要と考えます。

2－5 公園の問題点

公園の現状を踏まえ、問題点を次の通り整理します。

問題点① 公園利用の減少

従来の行政主体の公園整備や運営では、こどもや子育て家庭、高齢者、障がい者など、多様化する利用者のニーズに十分対応できなくなっています。さらに、公園の活用方法や利用の仕組みが分かりにくく、訪れる目的を見つけにくいことも利用減少の要因と考えられます。

公園が多様な人に様々な目的で利用されれば、地域コミュニティの活性化や周辺エリアの価値向上につながります。しかし現状では、そのポテンシャルが十分に活かされず、まちづくりの大きな機会損失となっています。

問題点② 地域管理の難しさ

街区公園はこれまで地域住民の協力によって管理されてきました。しかし、少子高齢化の進行や自治会加入率の低下により、管理の担い手が減少し、公園の適切な管理が難しくなっています。その結果、公園の環境が悪化し、問題点①も重なり、公園の利用が減り、公園の価値が下がることで、さらに管理が行き届かなくなるという負のスパイラルに陥る恐れがあります。

問題点③ 財政負担の増加

公園施設の老朽化が進む中、維持管理にかかるコストが増大しています。一方で、高齢化等に伴う社会保障費の増加により、自治体の財政は厳しさを増しており、限られた予算で公園を適切に管理することが求められています。従来の方法では対応が難しくなり、公園の安全性や利便性の低下を招く恐れがあります。

第 3 章 公園の新たな役割

3-1 まちづくりの視点から公園に期待すること

公園は、地域コミュニティの活性化や子育て支援、教育など、まちづくりにつながる様々な面で重要な役割を担っています。検討委員会での意見や関係部局へのヒアリング結果をもとに、公園に期待される役割を整理しました。

分 類	公園に期待する役割	役割を果たすためのアイデア		
		整 備	利活用	管 理
地 域	日常的な憩いの場や地域イベントの開催場所として活用され、住民同士が気軽に集まり交流を深め、家庭や職場・学校以外の「サードプレイス」として新たなつながりが生まれる場	・トイレの洋式化の推進	・地域連携の強化 ・公園をコミュニティづくりの場として活用	・地域企業との協働 ・中間支援組織との連携
こども	公園で自由に遊び、自然と触れ合うことで、こどものコミュニケーション能力や創造性、協調性といった「非認知能力」が育まれ、心身の健やかな成長を促す場	・遊具の充実 ・安全性の向上 ・プレイパークの整備	・多世代が交流できるイベントの開催 ・プレイリーダーやパークレンジャーの活用	
子育て家庭	こども同士の交流を通じて、親同士のつながりも生まれ、子育ての悩みを共有し、解決につなげる場	・親子が快適に過ごせる環境の整備	・子育て支援イベントの開催	
教 育	公園は、こどもから高齢者まで誰もが自然に触れたり、イベントを通じて交流しながら、ルールやマナー、園芸技術など、日常生活に役立つ様々なことを学べる社会教育の場	・自然観察ができるエリアの整備	・総合学習の場としての活用	
障がい者	公園での人とのふれあいを通じて、障がいに対する理解を深めるとともに、障がい者が社会とのつながりを保つ場	・インクルーシブ遊具や多目的トイレの設置、拡充 ・公園のバリアフリー化の推進	・地域との連携を強化する仕組みづくり ・障がい者への理解を深めるイベントの実施 ・障がい者向け設備の情報発信	
高齢者	高齢者が公園で散歩やグラウンドゴルフを楽しむことで、健康維持や社会とのつながりを保つ場	・日除け、雨除けの設置 ・健康器具の設置	・健康づくりイベントの開催	

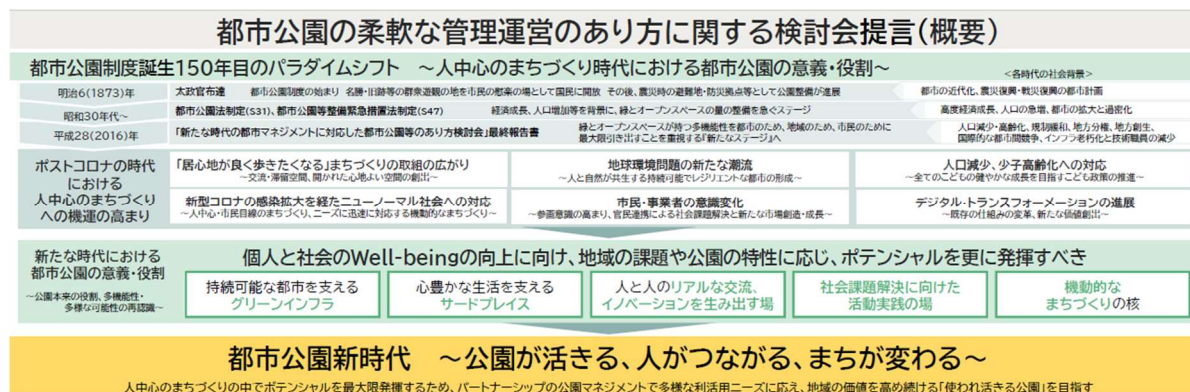
公園の緑は、まちの環境を守り、人々の暮らしを豊かにする大切な存在です。私たちは緑に支えられながら生活しており、自然とふれあうことで、快適で心地よい暮らしが生まれます。

福山市は「ばらのまち」として、市民と行政が協力し、ばらを通じたまちづくりを進めています。公園には地域が管理するばら花壇があり、ばらを育てることをきっかけに人と人とのつながりが生まれています。

公園の緑は、都市の環境を守り、人々が快適に暮らせるまちづくりに欠かせない存在であり、その重要性がますます高まっています。

3-2 新たな時代における公園の役割

国土交通省は、「都市公園の柔軟な管理運営のあり方に関する検討会」からの提言の中で、今後の公園に求められる意義や役割を次のようにまとめています。



●持続可能な都市を支えるグリーンインフラ

公園の緑は、都市の環境を守り、人々が快適に暮らせるまちづくりに欠かせない要素です。緑があることで、暑さが和らぎ、空気がきれいになり、心地よい空間が生まれます。また、公園は雨水を地面に浸透させて浸水を防ぐほか、火災の延焼防止や生態系の保全、景観の向上にも貢献します。

近年、都市の環境が大きく変化するなか、公園の持つ自然の力を活かし、様々な課題に対応することが求められています。公園を「グリーンインフラ」として積極的に活用することで、持続可能なまちづくりを進め、地域の魅力や価値を高めていきます。

●心豊かな生活を支えるサードプレイス

サードプレイスとは、現代の都市社会において、「ファーストプレイス」である家庭と職場や学校、いわゆる「セカンドプレイス」を行き来するだけでは得ることのできない、交流を通じて新たな学びや出会いを生み出す、居心地のよい第三の場所を指します。公園には、一人ひとりの心豊かな生活を支える「サードプレイス」としての役割が期待されています。

●人と人のリアルな交流、イノベーションを生み出す場

公園は、まちの中で人々が集まってくつろぎ交流する代表的な場所であり、公園の居心地のよい空間は、様々な人たちの出会いや交流につながります。特に、デジタル技術が普及し、オンラインでの交流が進む中で、偶然の出会いやリアルなつながりの場となる、身近な交流の場としての期待が高まっています。

●社会課題解決に向けた活動実践の場

公園は、地域の人々や様々なバックグラウンドを持つ人々が集まる場所であり、コミュニティを活性化する重要な役割を果たしています。このような場所で行われる活動や交流を通じて、地域の課題に対する理解が深まり、共通の目標に向けて協力する土壌が育まれることが期待されています。

●機動的なまちづくりの核

まちに対する人々のニーズは、社会の状況や技術の進歩にともなって常に変化しており、柔軟に対応していくことが求められています。公園は、多くの人が利用する公共の空間であり、安心・安全を確保しながら、様々な取り組みを試す場として活用できます。公園で新しいアイデアを試し、結果を検証しながら実施することで、その成果をもとに実際のまちづくりへとつなげていくことが重要です。

第4章 課題の整理

4-1 公園の課題

これまでの検討から課題を次のとおり整理します。

問題点① 公園利用の減少

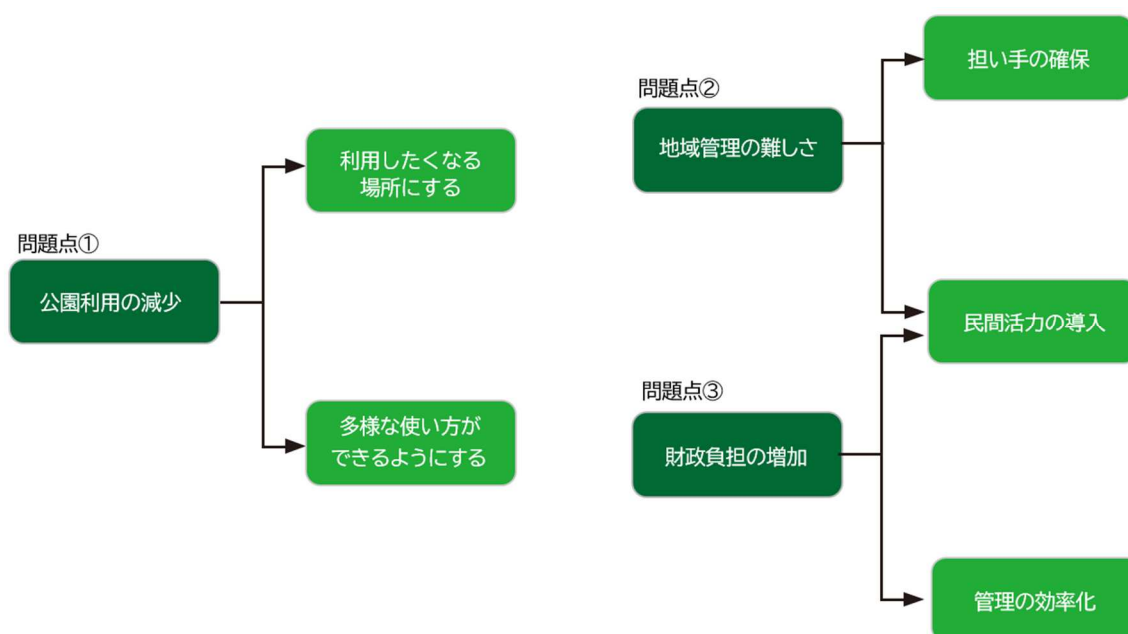
➡ 課題 「利用したくなる場所にする」「多様な使い方ができるようにする」

問題点② 地域管理の難しさ

➡ 課題 「担い手の確保」「民間活力の導入」

問題点③ 財政負担の増加

➡ 課題 「管理の効率化」「民間活力の導入」



4-2 まちの課題

(1) 地域コミュニティの活性化

自治会加入者の減少によりコミュニティ意識の希薄化、定年延長などの社会構造の変化に伴い、地域活動の担い手不足が深刻化しており、多様な主体が力を発揮できる地域づくりが求められています。

(2) 魅力的なまちづくり

少子高齢化や日常の中に楽しみや交流の場をつくり、まちの魅力を高めることが重要です。また、こどもや子育て家庭、高齢者、障がい者を含むすべての人が健康に快適に暮らせる環境を整え、多世代が共に暮らしやすい魅力的なまちづくりが求められています。

地域コミュニティの活性化

魅力的なまちづくり

4－3 課題解決の方向性

公園の魅力を高め、住民が公園運営に主体的に関わることで、地域コミュニティの活性化につながります。公園に愛着を持つ人が増えれば、自然と維持管理への関心も高まり、新たな担い手の発掘につながります。

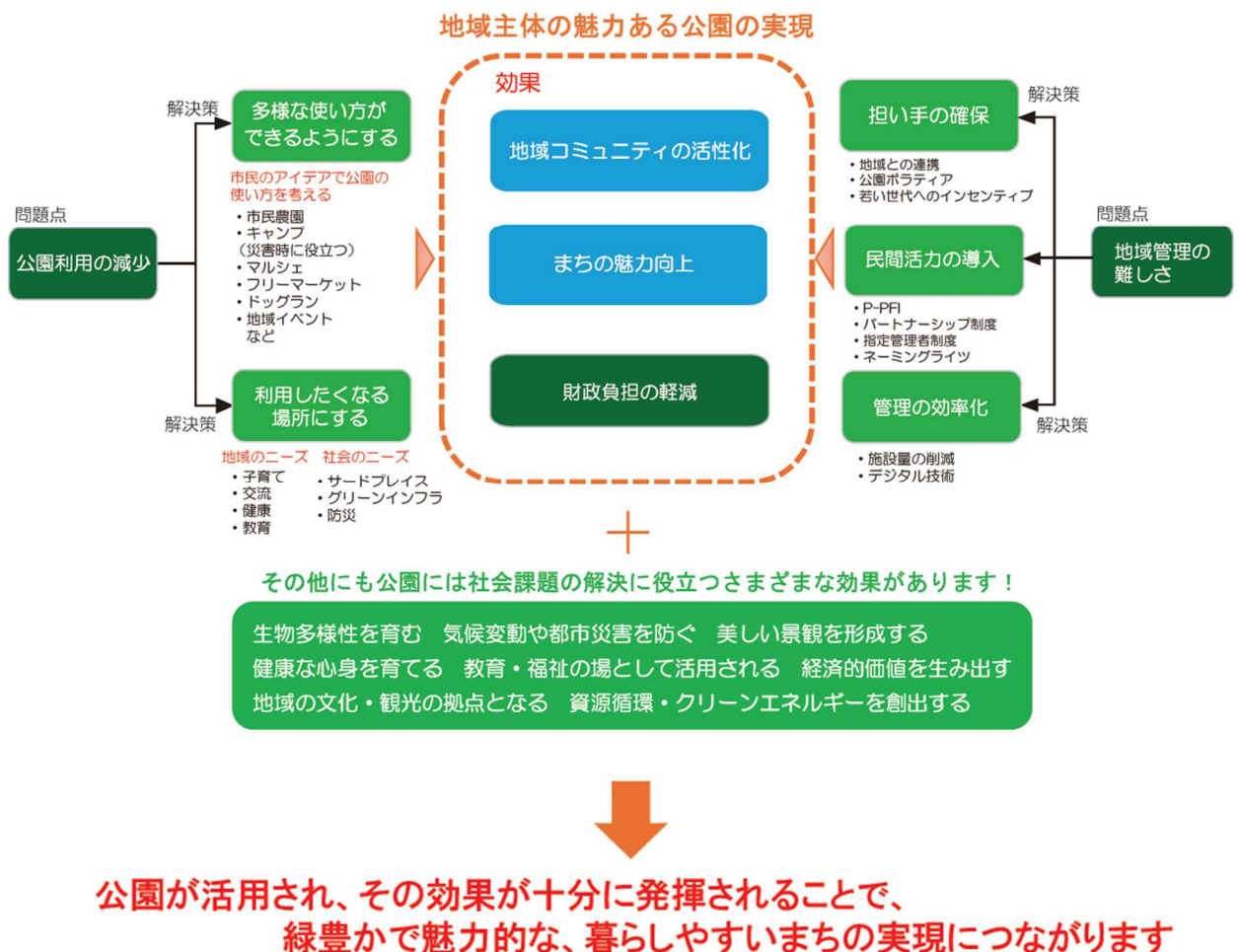
また、魅力的な公園には民間事業者の関心も集まり、資金やノウハウを活かした運営の可能性が広がります。

これにより、行政の負担を軽減しつつ、公園の運営管理の質を向上させることが期待できます。

こうした好循環が生まれることで、公園の魅力はさらに高まり、その効果がまち全体へと広がっていきます。

最も重要なのは、「公園を利用したくなる環境や仕組みをつくること」です。

多くの人に利用され、公園の持つ可能性が十分に活かされることで、周辺地域の価値が高まり、その効果がまち全体へ広がり、暮らしやすいまちづくりにつながります。



第 5 章 基本方針

5-1 めざす姿

これからの公園のあり方について、次の通り基本理念を定めます。

【基本理念】

公園本来の効果や新たな時代の意義・役割を踏まえた
「FUKUYAMA CITYパーク」
～地域コミュニティの核となる公園づくり～

公園は、まちづくりにおいて重要な役割を担う場です。これからの公園は、多様な使い方に対応し、地域の活力を生み出すことが求められています。本市では、次の5つの視点をもとに、産官学民が連携し、公園の利活用を促進します。公園の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティを活性化することで、誰もが安心して暮らせるまちづくりにつなげていく「FUKUYAMA CITY パーク」をめざします。

【5つの視点】

交 流 ～みんなが活躍し、まちづくりにつながる公園を作っていこう！～

公園は、様々な人が出会い、交流を深めることができる場です。地域が主体となって公園を活用し、新しいつながりが生まれる公園をめざします。

新しい楽しみ ～公園の新たな楽しみ方をみんなで見つけよう！～

公園には無限の可能性があります。これまでの使い方にとらわれず、市民が様々な楽しみ方を提案し、活用することで、新たな魅力を生み出し、より多くの人が訪れたい公園を実現します。

自然と共に ～公園の自然を活用し、ネイチャーポジティブな社会の実現につなげよう！～

公園の緑は、まちの中にある貴重な自然空間です。この緑を活かしながら、自然と共に生きる意識を育み、生物多様性を守ることで、持続可能な社会づくりに貢献することをめざします。

サードプレイス ～みんなが居心地よいと思える空間を作っていこう！～

公園を、家庭や職場・学校とは違う、心地よく過ごせる居場所としてさらに魅力的にしていきます。様々なライフスタイルに対応できる空間を整え、誰もが気軽に訪れ、くつろぎ、安心して過ごせる公園をつくりまします。

社会の力に ～公園の力を活用し、豊かな暮らしを作っていこう！～

公園は、まちの魅力を高める大切な資産であり、地域の課題解決にも貢献できる場です。健康づくりや地域防災、スポーツ振興、観光、経済の活性化に加え、多様性社会に対応した誰もが利用しやすい空間として、公園の役割を広げていきます。こうした公園の活用を進めることで、地域全体の暮らしが豊かになり、誰もが安心して過ごせるまちづくりにつながっていきます。この5つの視点をもとに、公園の新たな可能性を広げ、地域コミュニティの核となる公園づくりを進めていきます。

■基本理念

公園本来の効果や新たな時代の意義・役割を踏まえた「FUKUYAMA CITY パーク」
～ 地域コミュニティの核となる公園づくり ～

■5つの視点



5－2 取組の方向性

基本理念を踏まえ、取組の方向性と施策方針を次のとおり定めます。

【取組の方向性】

1 様々な分野とつながり、まちづくりにつながる公園 ～まちづくりのプラットフォーム～

公園を社会教育や健康づくり、地域コミュニティの活性化の場として、様々な人や団体が活用しやすい仕組みを整え、新たな交流を生み出します。これにより、公園の魅力が高まり、人と人とのつながりが深まることで、活気あるまちづくりにつなげていきます。

【施策方針】

1－2 様々な分野と連携した公園の利活用

公園を社会教育や健康づくり、地域交流の場として活用し、学校、福祉、文化、スポーツ、観光など様々な分野と連携し、新たな公園の魅力を創出します。

1－2 官民連携による柔軟な公園づくり

行政と民間事業者が連携し、公園の維持管理や利活用の仕組みを整え、イベントや地域活動の促進、収益事業の導入など、柔軟な公園づくりを進めます。

【取組の方向性】

2 持続可能で誰もが使いやすい公園 ～メリハリのある公園整備～

公園の規模や利用状況、周辺環境などの特性を考慮し、公園の役割を明確にするとともに、必要な施設を適正に配置し、効率的な、メリハリのある公園整備を進めます。また、地域が主体となって公園を活用できる仕組みを整えることで、利活用を促進するソフト施策も展開します。これにより、公園の魅力を高め、持続可能な公園づくりを実現していきます。

【施策方針】

2－1 地域のアイデアを実現する仕組みづくり

地域住民や地域の民間事業者などが公園の活用アイデアを提案し、実現できる仕組みを整えます。市民協働イベントの開催や公園利活用のルールづくりを進めます。

2－2 公園施設の適正な配置計画の検討

公園の規模や利用状況、周辺環境を考慮し、遊具やトイレなどの施設配置を最適化し、利便性とDX（デジタルトランスフォーメーション）を活用した管理の効率化を図ります。

【取組の方向性】

3 様々な社会課題の解決につながる公園 ～新たな時代の公園～

誰もが安心して利用できる公園をめざし、多様な視点を取り入れた整備を進めるとともに、民間事業者のノウハウを活かした効率的で質の高い運営・維持管理の仕組みを検討します。また、グリーンインフラや生物多様性のネットワークを活かし、環境教育や自然体験の場の充実などにより、環境保全とウェルビーイングの向上に貢献します。公園の力を最大限に活用し、社会課題の解決を促しながら、暮らしやすいまちづくりにつなげていきます。

【施策方針】

3-1 多様性社会に対応した公園整備

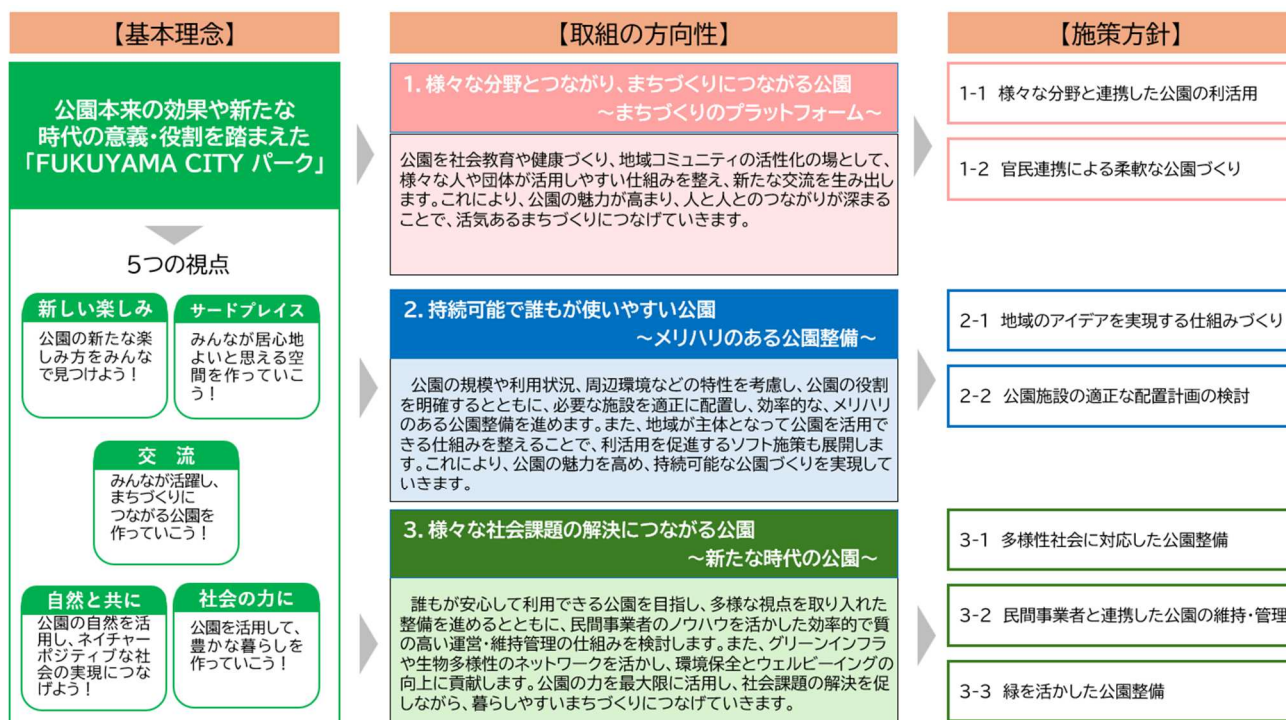
高齢者や障がい者、子どもなど、誰もが安心して利用できる公園をめざします。（バリアフリー化やインクルーシブ遊具の導入、多目的トイレや健康器具の整備、地域の利用ルールの設定など）

3-2 民間事業者と連携した公園の維持・管理

指定管理者制度や Park-PFI などを活用し、民間事業者のノウハウを取り入れた効率的で質の高い維持管理を実施し、持続可能な公園づくりをめざします。

3-3 緑を活かした公園整備

公園の緑を活かし、グリーンインフラの整備や生物多様性の向上をめざします。（緑陰効果やヒートアイランド対策など）



5－3 公園分類ごとの方向性

本方針の対象公園である719の公園は、面積や機能もさまざまですが、今後に向けた整備方針を検討していく上で、下図に示すように、「大きな公園（面積が概ね1.5ha以上）」、「小さな公園（A）（面積が概ね0.25ha以上）」、「小さな公園（B）（概ね面積が0.02ha未満）」の3分類で整理します。

分 類	定 義 対象公園例の例	面 積 対象公園数	方向性	施策 方針
大きな公園	様々な人が利用する 都市公園 （例：ばら公園、 総合体育館公園、 春日池公園、 緑町公園など）	概ね 1.5ha 以上 41 か所	- 豊かな自然環境を活かし、誰もが居心地よく安心して利用できる公園づくりに取り組む - 地域や教育、健康など様々な分野の人々が参加し、自由に公園活用のアイデアを提案できる仕組みづくり - Park-PFI 事業や指定管理者制度など官民連携による持続可能な公園づくりをめざす	1-1 1-2 2-2 3-1 3-2 3-3
小さな公園 (A)	主に地域住民が利用 する街区公園 （例：光南町公園、 久松台第7公園 など）	概ね 0.25ha 以上 537 か所	- 地域が自由に公園の使い方を考え、実践できる仕組みを整える - 教育や健康など、様々な分野と連携し、利用を促進する仕組みをつくる - 地域の地元企業や事業所と連携し、持続可能な維持管理の仕組みをつくる - 地域の状況に応じた植栽や施設配置を進め、施設の適正配置を行うことで維持管理コストの低減を図る	1-1 2-1 2-2 3-3
小さな公園 (B)	利用者が限定される 街区公園 （例：開発公園など）	概ね 0.02ha 未満 141 か所	- 地域や周辺住民が自由に公園の使い方を考え、実践できる仕組みを整える - 狭小であることや利用者が限定されるという特徴を生かし、「小さな公園（A）」よりも自由度の高い利用が可能な仕組みをつくる	2-1 2-2

5－4 推進施策

基本理念を実現するために次の5つの施策について重点的に取り組みます。

推進施策① 地域主体の魅力ある公園づくり事業

【施策方針】 1-1 様々な分野と連携した公園の利活用 2-1 地域のアイデアを実現する仕組みづくり

【公園分類】 小さな公園 (A) (B)

【取組内容】

○地域のアイデアを実現できる公園の仕組みを構築します。

2024 年度（令和6年度）に坂里公園で実施したコミュニティガーデンモデル事業などの実績を活かし、地域が取り組みやすい「行政提案型」と、一から自由にアイデアを考え仕組みを構築する「市民提案型」の2つの手法を導入します。地域が主体となって公園の新たな利活用を進め、行政はワークショップの運営や原材料の支給など必要な支援を行います。また、各取組の効果を検証し、より効果的なモデルの構築につなげていきます。

【施策方針】 2-2 公園施設の適正な配置計画の検討 3-1 多様性社会に対応した公園整備

【公園分類】 大きな公園 小さな公園 (A) (B)

【取組内容】

【市民提案型】地域の自由な公園活用アイデアを実現する

地域が新しい公園のアイデアを考え、実現できる仕組みをつくり、実践！




防災体験・かまどベンチの活用 夜の公園で星空観測

【行政提案型】コミュニティガーデンモデル事業

過去のモデルを参考に、地域で楽しく実践！




成功事例は行政提案型モデルとして他の公園に展開していく

推進施策② 既存公園の施設の配置検討

○公園施設の適正な配置に取り組みます。

公園の規模や利用状況、施設の老朽化の状況を踏まえ、利用者のニーズに応じた効率的な施設配置を進めます。多くの人が多目的に利用する「大きな公園」では、既存の施設を活かしながら、バリアフリー化やインクルーシブ遊具、健康器具を導入するなど多様化するニーズに対応する施設整備を進めます。一方で、画一的に整備されてきた街区公園のうち、利用者のニーズに合わず利用が少ない公園については、推進施策①と連携し、ハード中心の整備からソフトを重視した柔軟な公園利用へと転換を図ります。

これにより、公園の魅力や利便性を維持しながら、適正な施設配置を進め、DX を活用することで維持管理の負担を軽減し、持続可能な公園づくりにつなげていきます。

施設整備の基本的な考え方

分類	利用状況	バリアフリー	遊 具			健康器具	休憩施設	トイレ
			一般	複合	インクルーシブ			
大きな公園	—	◎	○	○	◎	◎	◎	◎
小さな公園 (A)	多い	●	●	●	●	◎	◎	○
	少ない	○	×	×	—	●	●	×
小さな公園 (B)	—	○	▲	▲	—	●	●	×

◎：推進 ○：現状維持 ●：地域ニーズにより整備 ▲：地域と協議のうえ縮小 ×：縮小

推進施策③ 官民連携事業

【施策方針】 1-2 官民連携による柔軟な公園づくり 3-2 民間事業者と連携した公園の維持・管理

【公園分類】 大きな公園

【取組内容】

○官民連携による公園運営のあり方を検討し、持続可能な運営体制の構築を進めます。

公園の魅力向上や利活用の促進、持続可能な維持管理、さらには地域課題の解決を図るため、民間事業者のノウハウや創意工夫を積極的に取り入れ、民間事業者の活力を活かした柔軟な公園づくりを推進します。

具体的には、指定管理者制度の活用や Park-PFI などの導入を視野に入れ、民間事業者の参画を促します。その一環として、公園の利活用に関する実証実験を行い、民間事業者のアイデアを取り入れながら、公園運営の可能性を探ります。また、サウンディング調査（民間事業者の意向確認）を実施し、意見を踏まえながら、最適な管理手法を検討していきます。

【参考】春日池公園の取組

春日池公園では、様々な実証実験を行い、公園の利活用の可能性を広げることで、魅力の向上を図ります。また、これらの取組を通じて民間活力の導入を促進し、公園の持続的な運営につなげていきます。

みんなで育てる、元気の源。ネイチャーポジティブな水辺公園



官民連携による取組を通じて公園の魅力を高め、多様な主体が公園運営に関わることができる環境の整備を目指します。

推進施策④ 公園緑の有効活用

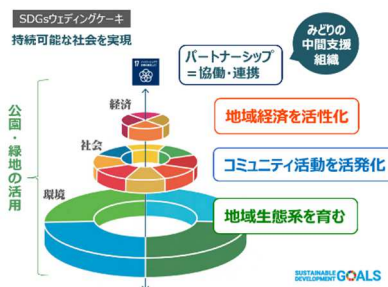
【施策方針】 3-3 緑を活かした公園整備

【公園分類】 大きな公園 小さな公園(A)

【取組内容】

○公園の緑を積極的に活用し、自然環境の価値を高めながら、持続可能なまちづくりを進めていきます。

ファミリーパークや堂々公園などの自然豊かな公園を活かし、周辺の小さな公園や緑地とつなげる「緑のネットワーク」づくりを進めます。計画的な樹木の更新や植生管理により、生物多様性を守りながら景観を整え、ヒートアイランド現象の緩和や防災機能の強化にもつなげます。また、環境教育や自然体験の場を充実させることで、こどもたちが自由に遊び、創造力や自主性を育める環境を整えます。こうした取組により、緑と水が調和した快適な生活空間をつくり、地域の魅力を高めます。公園の魅力向上が人や企業を引き寄せ、持続可能なまちづくりにつながっていきます。



出典：NPO birth



春日池公園の実証実験

推進施策⑤ 公園を拠点に広がる交流の仕組みづくり

【施策方針】 1-1 様々な分野と連携した公園の利活用

【公園分類】 大きな公園 小さな公園（A）

【取組内容】

○公園を多様な人や団体が活用し、人と人がつながる場として活用する仕組み等を検討します。

健康、教育、観光、福祉、スポーツなど、様々な分野と連携した公園利活用により、自宅や学校、職場以外のサードプレイスとして、誰もが多様な交流を楽しめる公園づくりをめざします。

分 野	公園利活用や連携のアイデア
健 康	健康器具の計画的な配置や、公園をつないだウォーキングマップの作成など、公園を活用した健康づくりにつなげていく。
教 育	様々な社会教育の場としての活用を進めるため、地域の交流館と連携する。
観 光	観光部局と連携したイベントの開催や DX を活用した情報発信を行う。
福 祉	障がいへの理解を深めるイベントを開催する。
スポーツ	公園でのスポーツイベントやスクールの開催、施設の整備などを民間事業者と連携して進める。

第 6 章 めざす姿の実現に向けて

6-1 推進体制

(1) 多様な主体との連携

公園を魅力的で持続可能な空間にするには、行政（官）だけでなく、企業（産）、大学・研究機関（学）、地域住民（民）など、多様な主体が関わり、それぞれの強みを活かすことが重要です。そのためには、行政内部の連携を強化し、市民や民間事業者のアイデアを柔軟に取り入れる仕組みを整えつつ、行政だけでは対応が難しい部分については中間支援組織などと協力し、公園の運営管理や活用を推進していくことが求められます。こうした多様な連携を通じて、公園の可能性を広げていきます。

(2) 資金の確保

公園の整備や運営管理を持続可能にするためには、安定した財源の確保が重要です。公的資金として、補助金や交付金の活用を進めるとともに、財政支援を強化します。さらに、民間資金の活用も促し、クラウドファンディングやネーミングライツの導入、企業の CSR 活動による協賛や寄付を推進することで、官民が連携した持続可能な公園運営をめざします。

(3) DX の活用

公園の維持管理や利活用の向上に向けて、デジタル技術を積極的に導入します。公園施設の点検や維持管理には、IoT や GIS を活用し、効率的なメンテナンスを実施します。また、利用者データを分析し、公園の施設整備や運営管理に反映します。さらに、オンラインで市民の意見を募集し、公園情報を提供することで、市民と行政の双方向のコミュニケーションを強化します。

6-2 方針の効果検証

公園整備基本方針に基づく取組を効果的に進めるため、PDCA サイクル（Plan・Do・Check・Act）を活用し、継続的な改善を図ります。その一環として、公園の管理者や市民代表、有識者が参加する「RE：Park-Meeting」を定期的を開催し、多方面から意見を集めます。そこでの議論をもとに、取組の効果を検証し、内容をブラッシュアップしながら次の施策につなげていきます。

資料編

1. 検討会議等

(1) 公園整備基本方針検討委員会

区 分	所 属 等	氏 名
有識者	福山市立大学都市経営学部都市経営学科 教授	岡辺 重雄
	NPO 法人 NPO birth 事務局長	佐藤 留美
	グリーンバード福山 リーダー	藤井 佳奈
	福山市緑地建設業協会 会長	北村 巧
	福山市まちづくりサポートセンター センター長	中尾 圭
	株式会社 Groove Designs 代表取締役	三谷 繭子
市民代表	福山市自治会連合会 常任理事	出原 敬三
	福山市PTA連合会 会長	野田 寿雄
	福山市子ども会育成協議会 会長	山本 強
	福山市身体障害者団体連合会 理事長	菅原 晃

オブザーバー

区 分	所 属 等
行政関係	国土交通省 中国地方整備局 建政部 都市・住宅整備課
	広島県 土木建築局 都市環境整備課

(2) 庁内検討チーム

部 署	役職等	部 署	役職等
建設局	政策調整官	長寿社会応援部	高齢者支援課長
都市部	公園緑地課長 利活用推進担当課長	保健部	健康推進課長
建設管理部	建設政策課長	市民局	政策調整官
保健福祉局	政策調整官	まちづくり推進部	まちづくり推進課長
ネウボラ推進部	子ども企画課長 ネウボラ推進課長	教育委員会	政策調整官
福祉部	障がい福祉課長	学校教育部	学びづくり課長

(3) 開催概要

回 次	開催日程	議 題
第1回	2023 年（令和5年） 11 月 13 日	- 公園の現状と問題点 - 先進事例の紹介 - 意見交換
第2回	2024 年（令和6年） 3 月 18 日	- まちづくりの課題の共有 - 課題解決につながる公園利活用について意見交換 - ニーズ調査方法及び内容の提案
第3回	6 月 18 日	- ニーズ調査の中間報告 - 小さな公園の活用事例 - めざすべき公園のイメージについて意見交換
第4回	8 月 9 日	- ニーズ調査結果の報告 - 先進地視察の内容報告 - 公園の役割や可能性について意見交換 - 実証実験（案）の提案
第5回	10 月 30 日	- 先進地視察結果の報告 - 実証実験の中間報告 - 方針の方向性の提案 - 第 1 回 RE：Park-Meeting の内容
第6回	12 月 24 日	- 実証実験結果の報告 - 第 1 回 RE：Park-Meeting の結果報告 - 方針（素案）の提案 - 施策実施に向けた仕組みについて意見交換
第7回	2025 年（令和 7 年） 3 月 27 日	- 第 2 回 RE：Park-Meeting の結果報告 - 方針（案）の提案



2. 実証実験

公園をもっと魅力的にするために、大きな公園と小さな公園で実証実験を行いました。アンケート調査や先進事例をもとに仮説を立て、実際の活動を通じて検証しました。その結果を公園整備の方針に反映し、より使いやすい公園づくりをめざします。

(1) 大きな公園の実証実験（春日池公園）

公園を柔軟に使い、多様な活動を行うことで、ワクワクする公園が生まれ、地域と一体となった魅力的なまちづくりにつながるという仮説のもとに実施しました。

【実施内容】

2024 年（令和 6 年）				
8 月 24 日	10 月 27 日	11 月 23 日	12 月 8 日	12 月 14 日
花壇で花を育てよう ナイトパーク 「星空防災編」	花壇で花を育てよう 車いす体験会 ＋イスヨガ ベンチをつくろう 春日池ポテンシャル 探し	花壇で花を育てよう	おちばひろい	樹木ウォッチング ネイチャーゲーム ナイトパーク 「星空防災編」

【結果】

花壇づくりでは、こどもから高齢者まで交流が生まれ、公園の景観向上にもつながるとの声があった。ナイトパークでは、防災意識の向上に加え、「ツリークライミングをやりたい」など新たな公園活用のアイデアが生まれた。身近な公園で自由に活動できる場を提供することで、継続的な公園活用の可能性が広がりました。



（２）小さな公園の実証実験（坂里公園）

公園で野菜を育てることで、高齢者の外出機会や生きがいを提供し、収穫の喜びを地域で共有することで、コミュニティの活性化を図るという仮説のもとに実施しました。

【結果】

当日は、事前に用意した野菜の苗や種だけでなく、住民が自宅からジャガイモやその他の野菜を持参し、現場で追加の植え付けが行われました。こうした自発的な参加により、コミュニティの一体感がさらに高まる場面が見られました。

また、農業経験のある高齢者が若い世代に対して植え付けのアドバイスをを行い、世代間交流が活発に行われました。こどもたちは、直接土に触れながら野菜を植える体験を通じて、生き生きと作業に取り組み、自然と触れ合いながら学びを深めていました

◇ 地域みんなで植付作業 10月20日実施



大根、カブ、スナップエンドウ・



地域からジャガイモ種も差し入れ



当日は、地域から25人(うち子ども10人)が大集合



ご高齢の方に教わりながら、みんなで植え付け



最後は、鳥よけのカバーを設置して完了

◇ 地域から苗の差し入れ。それぞれの芽吹き、発芽(11月4日)



わけぎ、ねぎ、にらの差し入れ



地域からの差し入れ・ジャガイモ種から芽が



だいこん、ほうれん草の種から無事に発芽

3. 柔軟な利活用の取組み

福山市では公園の管理運営に民間活力を導入し、管理費の抑制を図りつつ、より質の高いサービスを提供する取り組みを推進しています。

事例① 中央公園（霞町）

福山駅周辺のにぎわい創出や回遊性向上の手段として、Park-PFI を中四国エリアで初導入。民間事業者によって、公園内にガーデンレストランや休憩スペースとなるあずまやなどを新設しました。また、定例イベントを開催し、市民が集う憩いの場となっており、イベント等での公園使用料を維持管理費に充てています。



事例② 家廻公園（内海町）

内海町の地域住民（やまわり公園草刈クラブ）が主体となって、福山市立大学根本研究室と連携し、花壇の整備やトイレの改修、ベンチの設置などを進めて地域に長く愛される新たな公園へと生まれ変わらせています。



事例③ 春日池公園（春日町）

春日池公園において、より質の高いサービスを提供しつつ、都市・地域課題の解決やエリア価値の向上に繋がる民間活力の導入に向けた取り組みとして、公園のポテンシャルを発見する様々な利活用の取組を行っています。



事例④ 芦田川緑地かわまち広場（千代田町）

行政、地域住民、民間事業者、団体等が一体の組織である千代田地区かわまちづくり官民連携プラットフォームを設立し、都市・地域経営課題の解決及び賑わいの創出や居心地のよい空間づくりといったエリアの魅力向上に寄与する事業を行っています。



4. RE:Park-Meeting

第1回「RE:Park Meeting～未来の公園会議～」の結果

■目的

公園の現状を把握されている公園を管理している方や、「小さな公園」の新たな活用方法の一つとして「コミュニティガーデンモデル事業」などに取り組んでいただいた地域から、身近な公園の課題や実証実験の感想など、自由に発言していただき、有識者の意見を交えて、より実効性の高い整備方針とするためのアイデアを得るとともに、本市の取り組みについて周知を図ることを目的として開催しました。

■日時・場所

2024年（令和6年）11月20日（水）19:00～21:00
市役所本庁舎3階大会議室

■参加者

検討委員会委員、公園を管理している方（16名）、実証実験参加者、市民代表



■まとめ

参加者からは、公園の利活用について積極的な意見が多く寄せられ、地域としても公園を活用したいという思いがありました。その一方で、町内会の加入率低下などにより地域全体の力が弱まっているため、「やりたいことはあるが実践が難しい」という課題も浮き彫りとなりました。

第2回「RE：Park Meeting～未来の公園会議～」の結果

■目 的

地域の公園活用アイデアを実践するため、市の協力体制や実施の仕組みについて意見交換を行い、実施フローを作成するとともに、来年度の公園活用ワークショップの参考とすることを目的として開催しました。

■日時・場所

2025年（令和7年）2月5日（水） 19：00～21：00

市役所本庁舎3階大会議室

■参加者

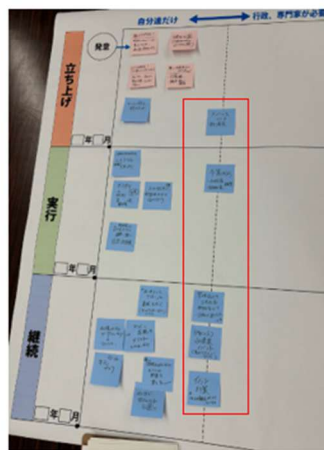
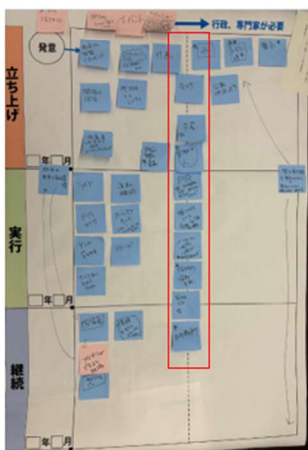
検討委員会委員、公園を管理している方（10名）、実証実験参加者、市民代表



A班 まちの活性化(地域イベント)



B班 防災のまちづくり(地域の避難場所)



■まとめ

公園活用アイデアの実現に向けて、次のポイントが重要であることがわかりました。

- ・若い世代が気軽に参加できるよう、楽しさを取り入れた工夫が必要
- ・地域で専門知識を持つ人の力を活かすこと
- ・取組の記録を残し、効果検証を行っていくこと
- ・行政は、地域に寄り添いながら、継続して地域をサポートすることが重要

5. ニーズ調査

(1) 調査概要

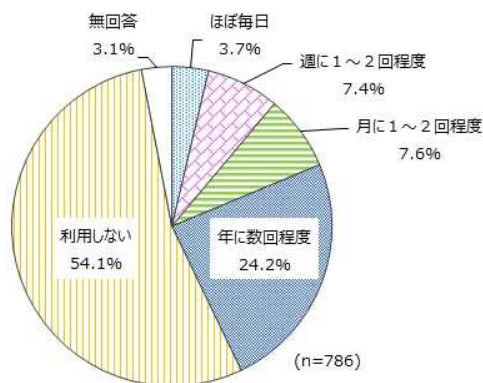
調査の目的	市民の皆さまの公園に対するニーズを把握し、方針策定の参考にするため
調査対象	福山市にお住まいの18才以上の方の中から無作為抽出
調査期間	2024年（令和6年）5月17日（金）～5月31日（金）
調査方法	配布方法：郵送 回収方法：郵送またはWEB
調査票の配布・ 回収状況	配布数：2,000件 回収数：786件（郵送：583件、WEB：203件） 回収率：39,3%

(2) 調査結果

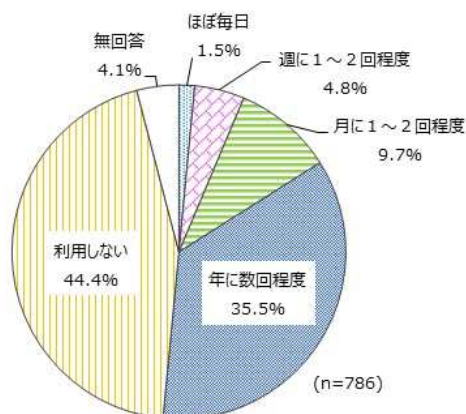
問1 公園をどのくらい利用していますか。

（「小さな公園」「大きな公園」それぞれについて、当てはまるもの1つに○をつけてください。）

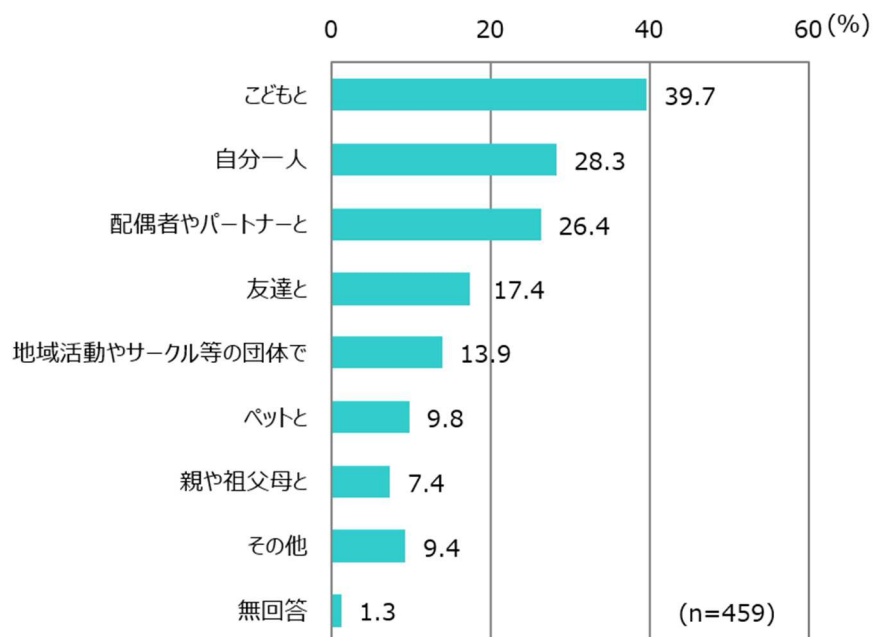
■小さな公園



■大きな公園



問2 問1で公園を利用すると回答（1～4を選択）された方にお聞きします。公園を誰とよく利用しますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。（複数回答）

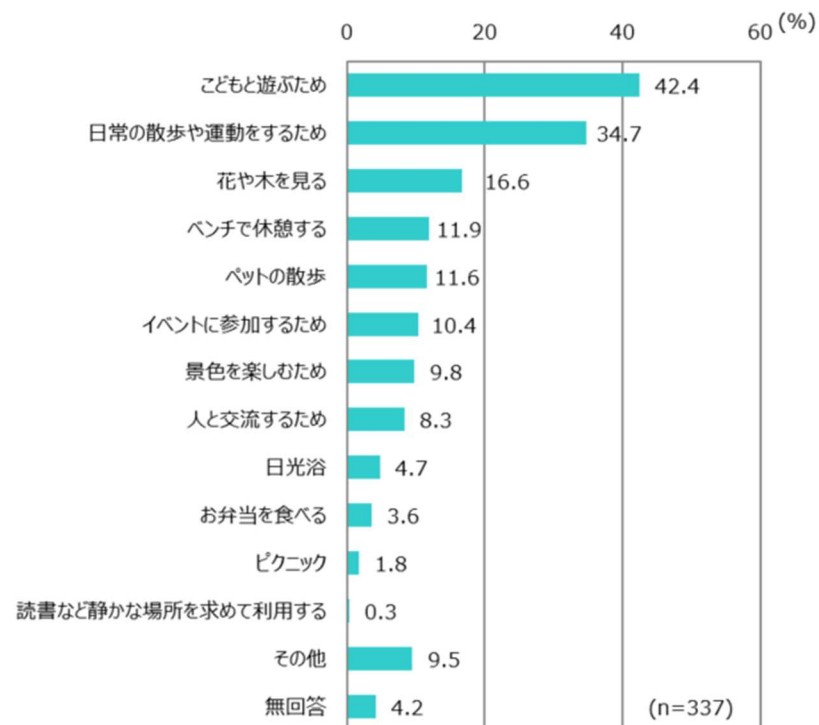


その他		
孫（27）	家族〈子ども・兄妹〉（6）	仕事（6）
親族〈姪〉（3）	自然	ゴミ収集
利用しない	学校の運動会	

問3 問1で公園を利用すると回答（1～4を選択）された方にお聞きします。公園を利用する目的を教えてください。

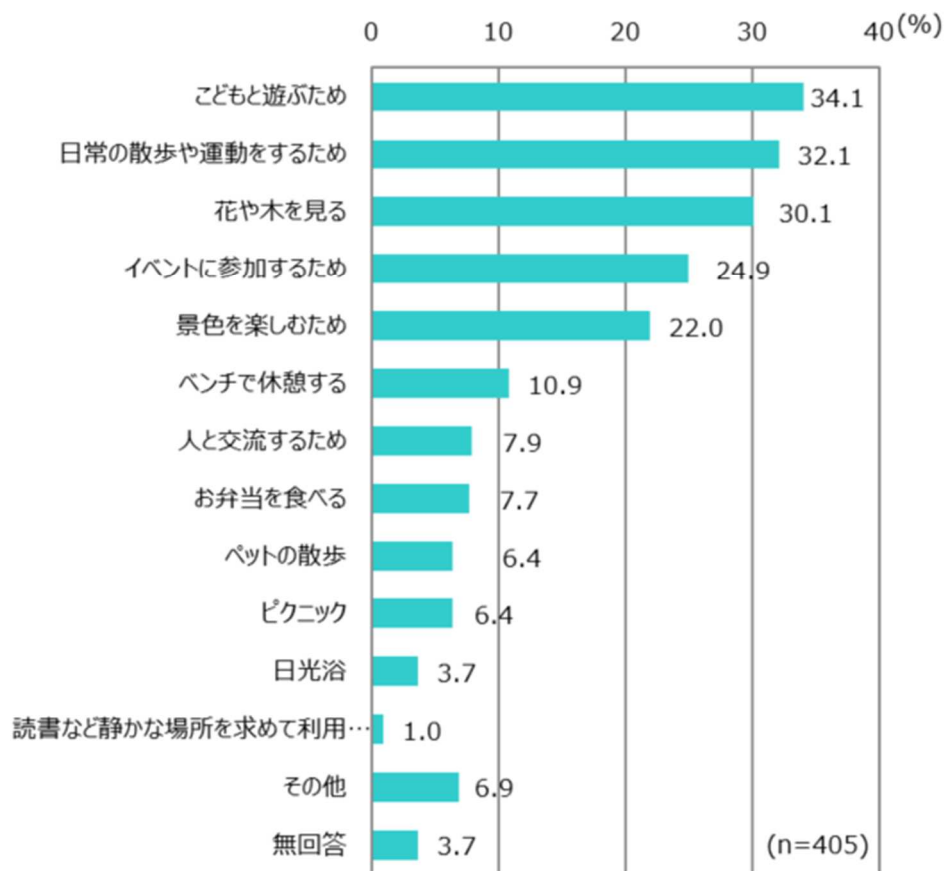
（「小さな公園」「大きな公園」それぞれについて、最も当てはまるもの最大3つに○をつけてください。）

■小さな公園



その他	
ゴミ収集・清掃活動（8）	コミュニケーション・遊ぶ（7）
スポーツ・体操（4）	トイレ（4）
地域行事（3）	時間つぶし・休息（3）
観光（2）	散歩
なんとなく	

■大きな公園

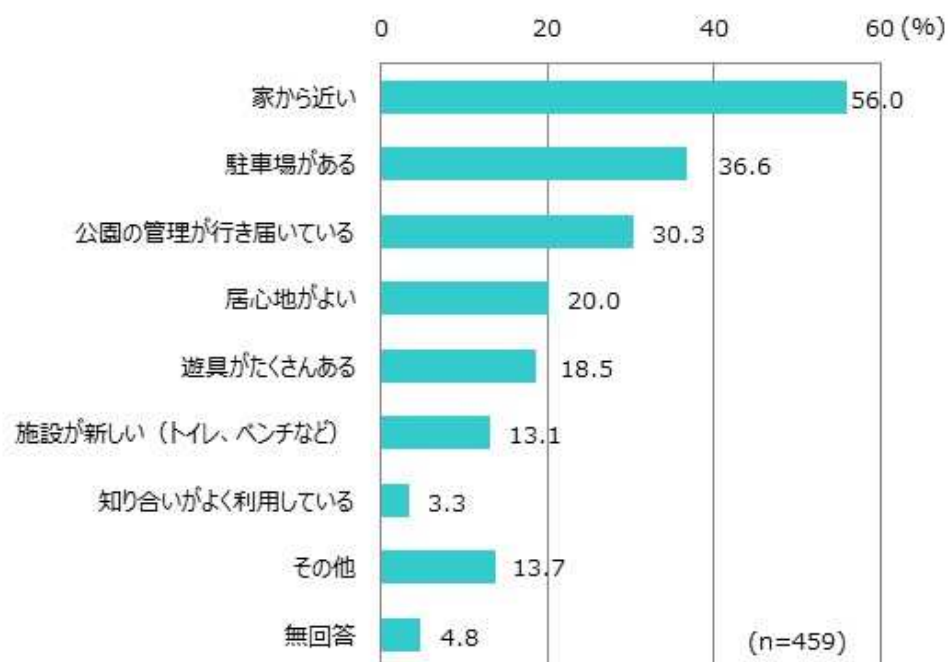


その他	
コミュニケーション・孫と遊ぶ（11）	スポーツ（6）
トイレ（4）	時間つぶし・休息（2）
ストレス解消（2）	観光
掃除	

問4 問1で公園を利用すると回答（1～4を選択）された方にお聞きします。よく利用する公園名を教えてください。（複数ある場合は、利用頻度が多い順で最大3つまでご回答ください。）

公園名	件数
大きな公園	516 件
総合体育館公園（エビノアリーナ）	89 件
春日池公園	83 件
ばら公園	49 件
福山城公園	39 件
緑町公園	39 件
駅家公園	36 件
竹ヶ端運動公園	24 件
中央公園	19 件
福山メリアルパーク	18 件
堂々公園	17 件

問5 問4でお答えいただいた公園について、よく利用する理由を教えてください。（最も当てはまるもの最大3つに○をつけてください。）



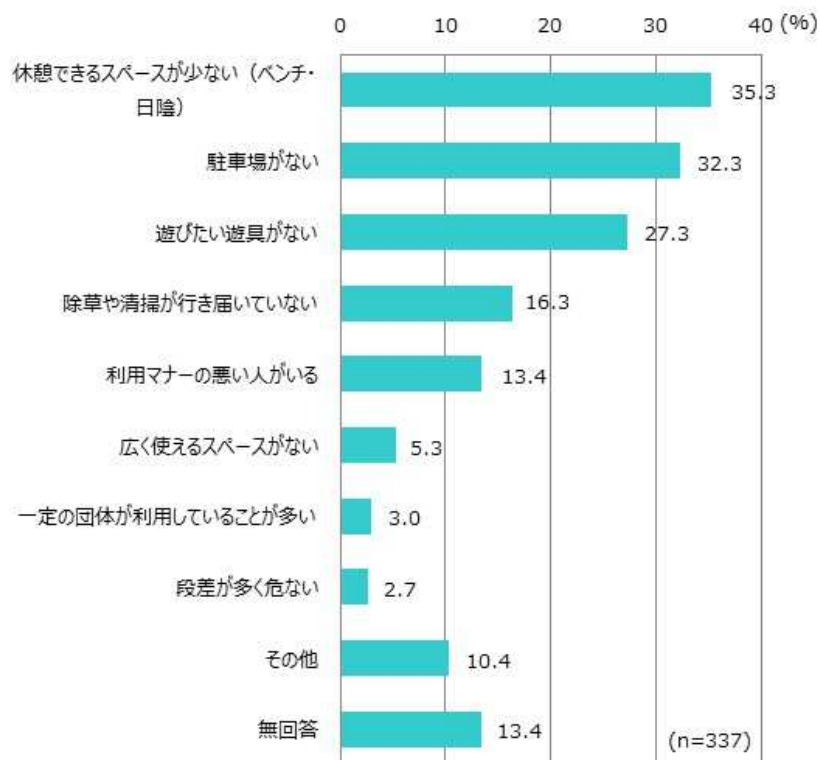
その他	
自然がある（12）	イベント開催（11）
スポーツをする（10）	周辺環境の利用とともに（8）
設備・遊具・広さ（6）	地域活動がある（3）
遊ぶ（2）	こどもが好き（2）
職場が近い（2）	夜間だと子供が少ない
指定場所のため	他に近い公園がない
浅い小川が綺麗で犬の散歩に丁度良い。	

<利用者別>

問6 問1で公園を利用すると回答（1～4を選択）された方にお聞きします。利用する公園で不満に感じていることを教えてください。

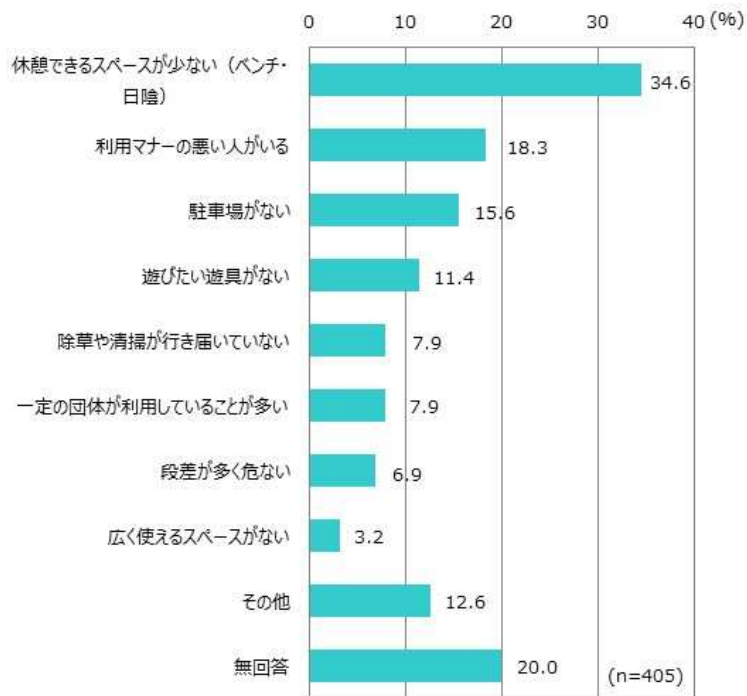
（「小さな公園」「大きな公園」それぞれについて、最も当てはまるもの最大3つに○をつけてください。）

■小さな公園



その他	
トイレがない・汚い（10）	不満なし（8）
遊具がない・少ない（4）	近くに公園がない（3）
ボール遊びができない	時間がない
夜暗すぎる	駐車場が有るが、台数が少ない
後から引っ越してきた人のクレームが多く昔よりこどもたちが使用しにくくなっている。	
フェンスの高さがもう少し高ければと思います。	
特に無いが、外周の側溝をカバーして欲しい。	

■大きな公園

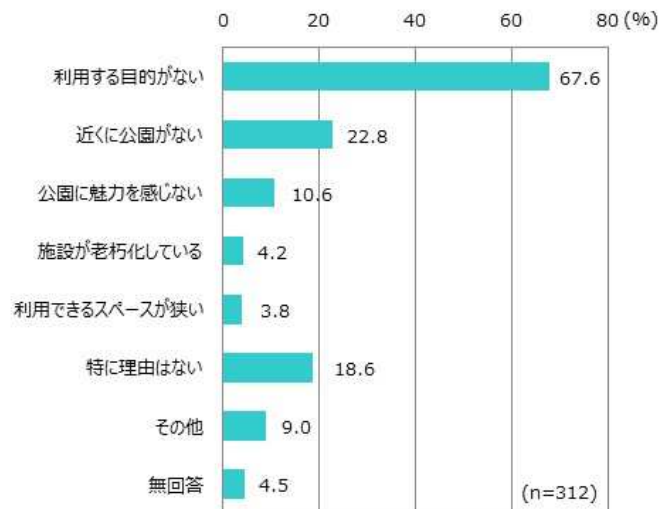


その他	
不満なし（10）	駐車場が少ない・遠い・有料（9）
トイレが汚い・少ない（9）	遊具が少ない・古い（4）
利用者が多い（4）	犬禁止が多い
時間がない	街灯がない
古い（竹ヶ端）	水道が少ない
日陰がない。日陰のベンチがない。	独り身には場違い感がある。
人気の公園は利用する子供が遊具で鬼ごっこしていて遊べない。	
春日池公園の池に柵があるが、柵と柵の間が広いので狭くしてほしい。（小さい子どもにはあぶないので）	
バリアフリーになっていない。	

問7 問1で公園を「5. 利用しない」と回答された方にお聞きます。利用しない理由は何ですか。

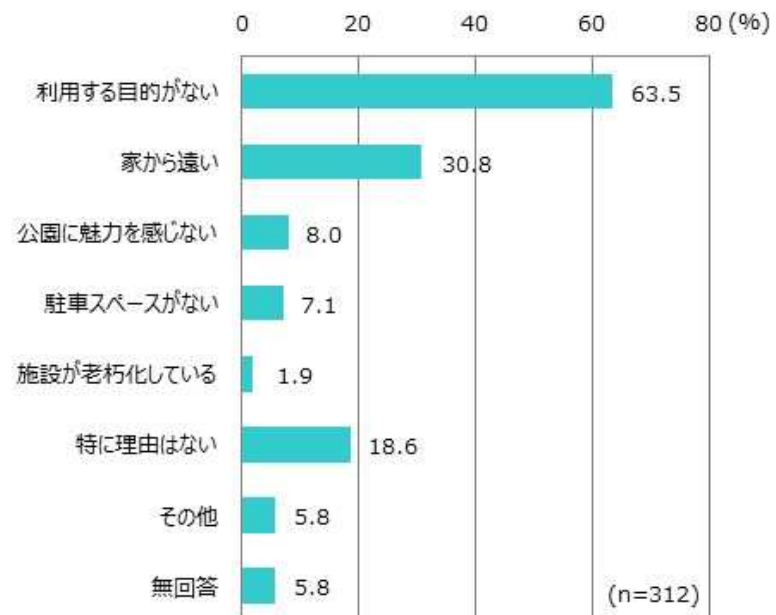
(「小さな公園」「大きな公園」それぞれについて、最も当てはまるもの最大3つに○をつけてください。)

■小さな公園



その他	
行けない (7)	高齢の為 (5)
利用できない (3)	出かけない (2)
時間がない (2)	必要がない (2)
人がいなくてさびれている	大人だから
ボールがつかえない	遊具とかベンチとか少ない
廃屋のようなうらぶれ、維持管理がなされてなく不気味、治安が心配。不潔、埃っぽい。雑草が多い。	
「小さな公園」でこども（特に女の子）が遊んでいると、男性の大人は入りづらいです。（不審者扱いされる可能性があるから）	
利用制限に引っ掛かりそう。	

■大きな公園

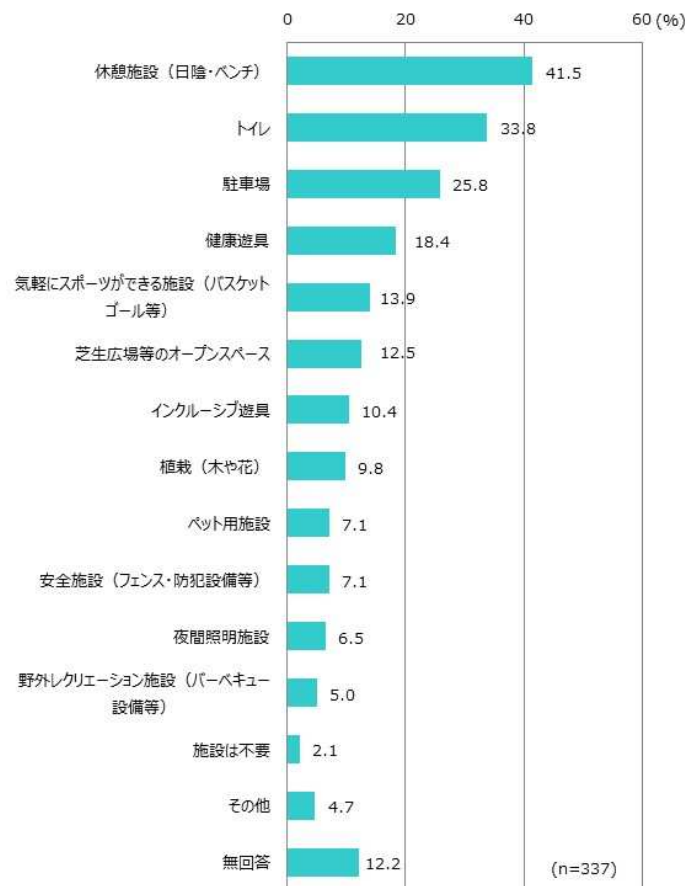


その他	
行けない (6)	高齢の為 (5)
時間がない (2)	私は現在体力がなくて外出をしていない
出来ることの範囲が狭くなった。	大人だから。
どくどくしい色の遊具、運動具の数々。納入業者の色彩感度悪い！ヨーロッパやセンスいいモデル地視察して、見習って学んで。センスが幼稚。	
日陰になる場所がたくさんあれば良いベンチなども。	

問8 どのような施設が充実すれば、さらに利用する機会が増えると思いますか。

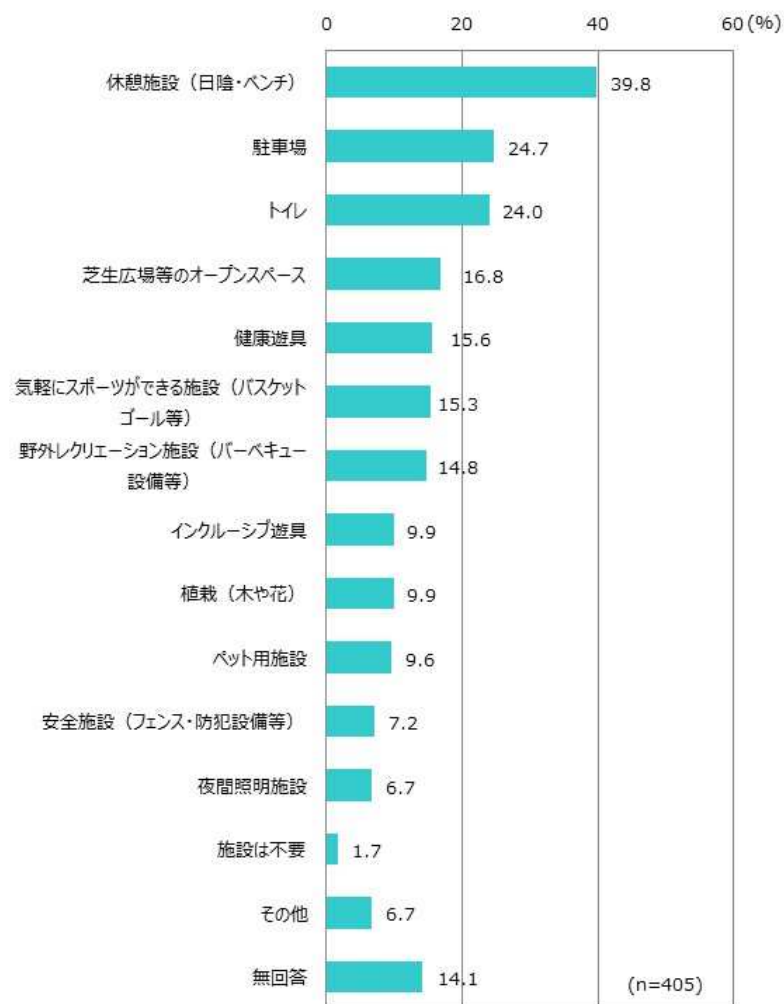
（「小さな公園」「大きな公園」それぞれについて、最も当てはまるもの最大3つに○をつけてください。）

■小さな公園



その他	
特になし（2）	遊具の充実（2）
遊びの制限緩和（2）	家から遠い（2）
障がい児専用の公園	防音室（街角ピアノ、カラオケ、楽器）
周辺住民の理解	入口が遠い
水道、手足の洗い場	トイレに100Vの照明
公園にスピーカーがないため、ぜひスピーカーがほしい。	
日陰がある、ゴミをすてられる、屋根がある。	

■大きな公園

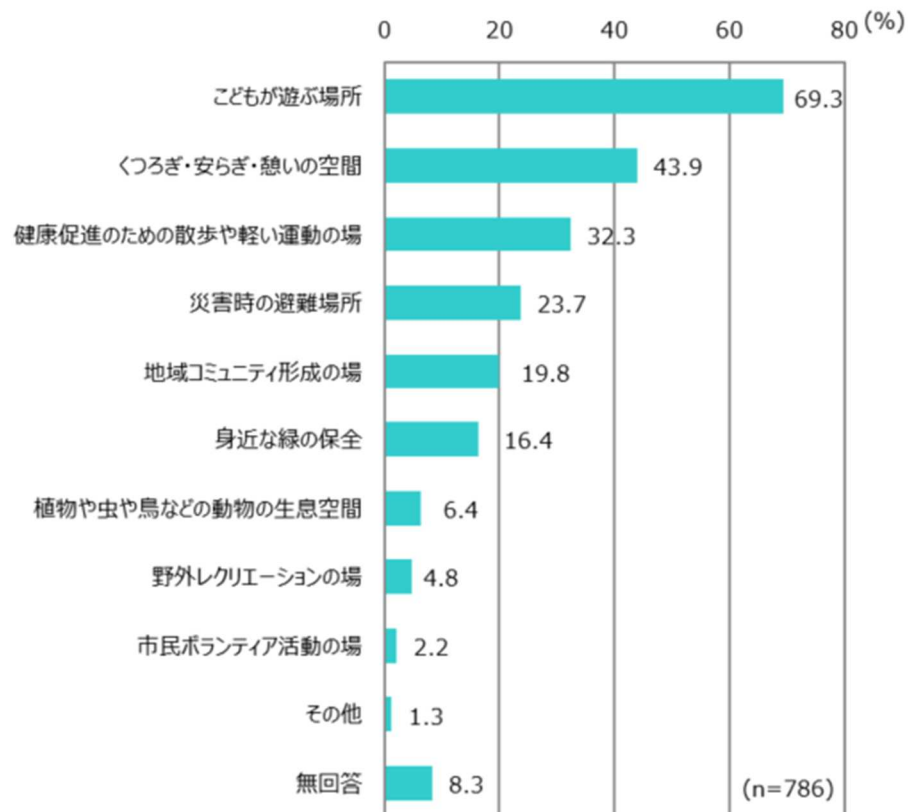


その他	
ドッグラン（5）	屋根（4）
特になし（3）	設備（3）
年齢別（2）	施設（2）
バリアフリー（2）	家からの近さ
障がい児専用の公園	防音室（街角ピアノ、カラオケ、楽器）
水道、手足の洗い場	バス停（公園正面入口まで乗り入れ）
駐車場が有料なため、時間を気にしながらの駐車になるので無料であってほしい。有料であれば機会が減ってしまう。	
山歩会の会長をしているが（ウォーキング）公園に行く、行先に入らない。	
イベントの開催など。私は飼っていないがドッグランはどうでしょう。	

問9 公園に期待する役割は何だと思えますか。

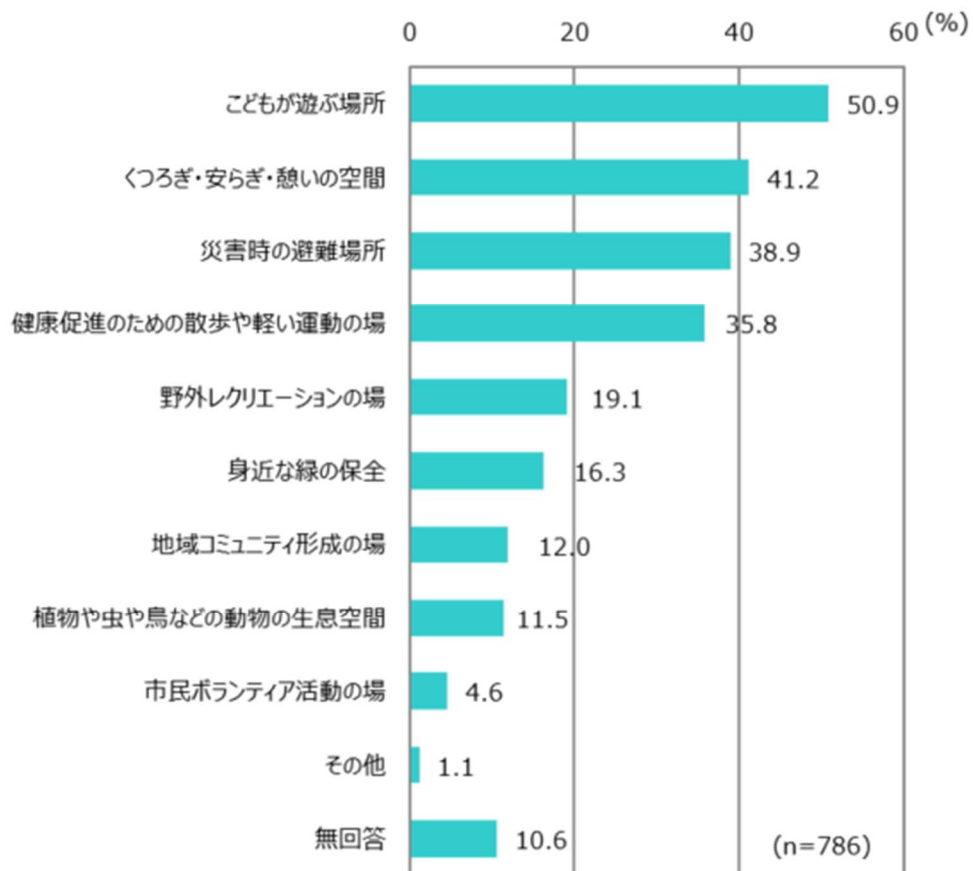
（「小さな公園」「大きな公園」それぞれについて、最も当てはまるもの最大3つに○をつけてください。）

■小さな公園



その他	
特になし（2）	目と足が喜ばばいいのでは？
トイレ利用	公園が欲しい。
ペットも入れる公園を造ってほしい	珍しい花木
こどもに必要な場所	歩いて行ける場所にあること

■大きな公園



その他	
特になし（2）	ポケモン GO
珍しい花木	こどもには必要な施設
ビオトープ的なものが楽しめる空間があるといい	
広い年齢層の人が楽しめる野外イベントをやるように整備してほしい。	
ドッグラン	

問10 あなたはどのような公園であれば、利用したいと思いますか。「小さな公園」「大きな公園」それぞれについて、自由に記入してください。

■小さな公園

回答	
設備の充実（103）	清潔・整備・管理（68）
安心・安全（58）	くつろぎ・安らぎ・憩いの場（54）
遊具の多さ・きれいさ（52）	トイレがある・きれい（47）
自然がある（46）	スポーツ・運動・ボール遊びができる（39）
遊びやすい（38）	家に近い（33）
利用しない、特になし、分からない（20）	健康増進の場（17）
気軽に行ける（15）	交流・コミュニケーションの場（9）
イベント開催（7）	施設の充実（7）
ドッグラン等ペット可（7）	開放感がある・見晴らしが良い（7）
活気のある公園（5）	ルールの守られた・マナーの良い（5）
使用者別の公園（3）	花火、バーベキュー等ができる（3）
公園・広場が欲しい（2）	バリアフリー
現状維持で良いと思う	小さな公園はいらない
※調査票にイラストあり	

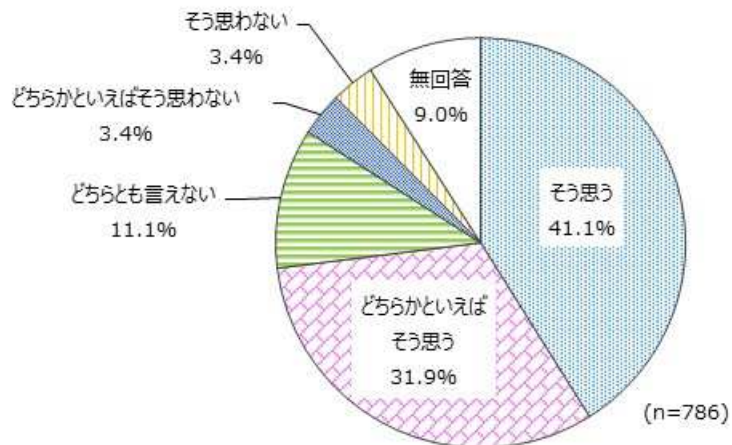
■大きな公園

回答	
設備の充実（100）	スポーツ・運動・ボール遊びができる（73）
自然がある（62）	清潔・整備・管理（45）
イベント開催（37）	トイレがある・きれい（35）
遊具の多さ・きれいさ（30）	くつろぎ・安らぎ・憩いの場（29）
施設の充実（28）	安心・安全（26）
ドッグラン等ペット可（23）	家に近い（20）
誰でも利用できる（19）	利用しない、特になし、分からない（15）
開放感がある・広い・見通しが良い（15）	キャンプ、バーベキュー等ができる（12）
使用者別の公園（12）	防災対策（9）
交流・コミュニケーションの場（8）	ルールの守られた・マナーの良い（8）

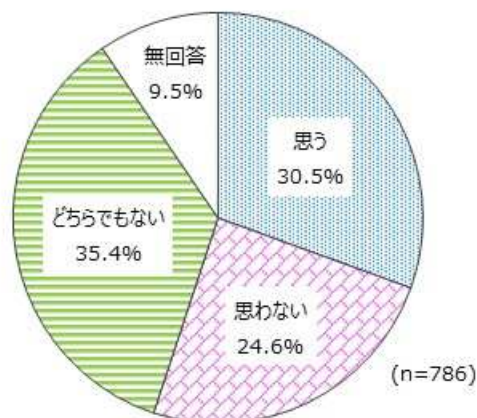
回答	
気軽に行ける（7）	健康増進の場（6）
遊びやすい（5）	バリアフリー（5）
交通・アクセスの良さ（4）	活気のある公園（2）
現状維持（2）	いない（2）
ラジコン等のコースがあれば	あまり遊具はいるらないと思う現代では
駐車場の料金が時間制限なく無料	※調査票にイラストあり
混雑しない	自転車等が乗り入れ出来ないようにする。
楽しく時間が過ごせる公園	いつもと違う空間を楽しむ場所
満足している	利便性
値段が高くない	日陰と景色の良さ
遊びたい場所があるところ	他にない大きな規模のもの
ハイハイしている子を連れて行ける様な室内施設、オムツ交換ができるトイレ、公園の混雑状況が分かるようなシステム（福山市のホームページ等から）	
エフピコアリーナの横の大きな空地について特色のある公園づくりをして外の公園の参考となる指針を作っていくべき。	
完全にスマホゲームで利用しています。アイテム回収ポイントが多く、他の利用者もゲームイベントで多く集まるため、多目的で利用している人の迷惑にならない範囲で楽しんでいます。他ゲームユーザーが集まる確定で行ける頼もしいエリアとして利用しています。	
ローズコムの中央公園くらいが丁度良い気がする。バランスが良い。	
公園までが急勾配であるため、100m位ありこれがしんどい。	
近隣の岡山県（井原市、笠岡市）などには大きな公園が多いが福山市には少ない。	
生き物と触れあえる、見晴らしが良い。	
障がい者や高齢者、小さな子が利用しやすいようにバリアフリーになっていて、休めるスペースが多いと利用しやすい。	

「小さな公園」の整備について

問１１ 「小さな公園」ほど、利用者が少ない状況であるため、地域のニーズを把握したうえで、特色ある公園整備を進めることが、公園の利用促進につながると考えています。どのように思われますか。当てはまるもの、１つに○をつけてください。

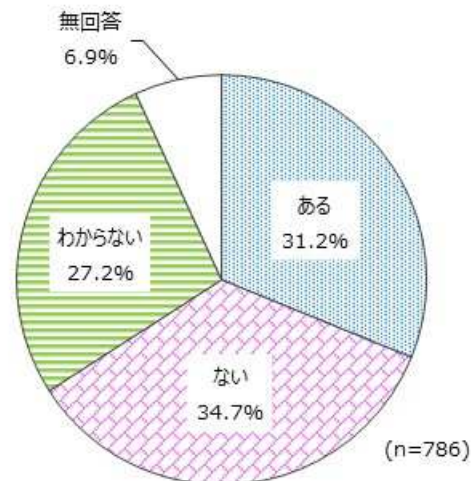


問１２ 特色ある公園にするため地域で利用に関するアイデアや意見を出し合い、公園の再整備や利用のルールを決めることができるのであれば、やってみたいと思いますか。当てはまるもの、１つに○をつけてください。



「小さな公園」の利活用について

問13 公園で、他の利用者の行為で危険や迷惑に感じたことはありますか。ある場合は、どのような行為か教えてください。当てはまるもの、1つに○をつけてください。

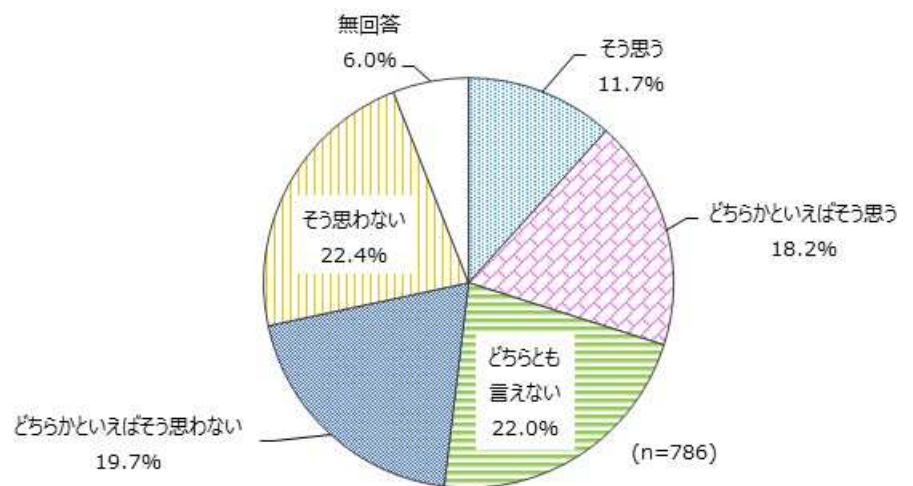


■ある場合

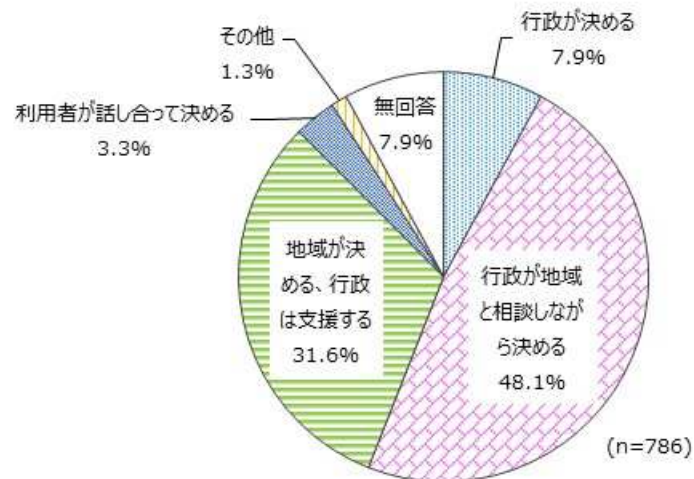
回答	
遊び（スケートボード、ボール遊び等）（67）	ゴミ・ポイ捨て（63）
喫煙（36）	人（26）
ペット・フン（25）	騒音（17）
花火（14）	自転車・バイク・車の乗り入れ（13）
マナーが悪い、ルール違反等（13）	遊具が古い・危険（4）
飲酒（4）	ごみのポイ捨て、夜間居座り
駐車場がない少ない狭い	ハトのえさやり
トイレの使い方、マナー	ゴミ箱やトイレの使い方の乱雑さ
物が相手に当たる	喫煙、トイレ以外での排泄
トイレの使い方	路上駐車が多い
こどもを遊ばせて放置している親	トイレの建物に上がっていた。
喫煙、ごみ、老害、BBQ	ごみが散らかっているトイレが汚れている
水道栓付近に穴が掘ってあった。すべり台に土か砂を流した跡があった。	
今までの経験で、不潔なイメージしかない。	
遊具内で鬼ごっこをしている。親が子どもを見ていない。	

回答
草が生い茂っているので、変な虫とかがいるのではないかと思います
水が使えたら、こどもが悪さでかけてきたり、木、花等をむしる
雨の後、自転車で通っているのでゆるくなって歩きにくい、汚れる。
遊具のそばでボール遊び、利用しない人からの苦情（うるさいなど）
ごみが捨てられている。トイレが汚い。明るくないので夜は怖い。
公園からボールが道路に転がってきて危ない。立ち小便。
トイレが汚い、ティッシュが散らかっている。
ごみのポイ捨て、自転車置くスペースなく、皆が適当に停めているので、段差付近など小さい子が危ない
路上への飛び出し。こども目線の注意喚起が必要かも
ごみのポイ捨て（おかし、タバコ）、清掃用具からこどもが持ち出したのか鎌が放置されたままになっていた。
閉所になった公立保育所が家の近くにあるが、グラウンドゴルフが中心になり、門が（グラウンドゴルフがない日）がしまっていたり（簡易鍵がかかっている）、利用しにくい。近くに公園がないため公園として利用したい。
除草剤をまいているから入るなという看板が常にある。キレイにしてくれることはありがたいが、使用者にとってみれば使いづらい。
道路に面している公園で子供が飛び出してきて危なかった。
中学生以上の大きな子供が本気でやってる野球。周りに小さな子供とかいて危なかった。休日に、我が物顔で広い公園の敷地を全面使ってやっているフットやソフトの練習。それ以外の人立ちは立ち入り禁止ですか？状態で使えない。
スケートボード。自動販売機を殴っている小学生。
人の利用が少ないようで、ひとりで行くと不安を感じるがあった。トイレ利用のマナーが悪いと感じたことがあった。

問14 公園の利用ルールを少なくして、個人のマナーに任せたほうがよいと思いますか。当
てはまるもの、1つに○をつけてください。



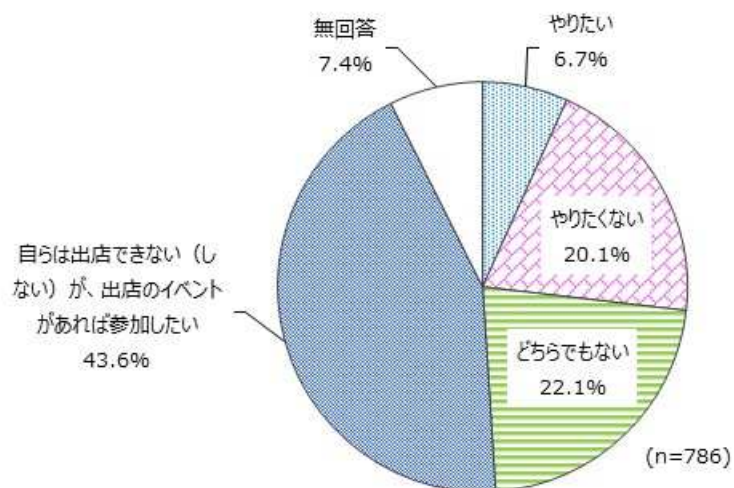
問15 公園の利用ルールを決めるとすれば、どのように決めればよいと考えますか。当てはまるもの、1つに○をつけてください。



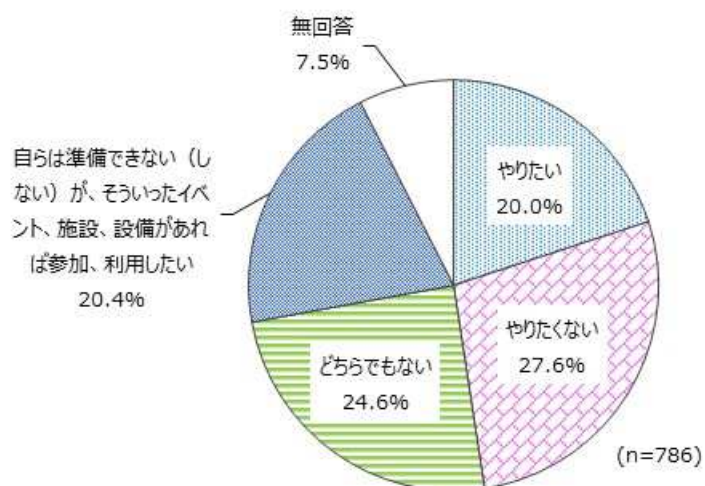
その他
行政が決め、モラルに沿った利用者が使用する。
ルールがあっても守らない人がいるのが問題なのでは。
知らない。
地域だ、利用者だといっても困った事があって、手におえなくなったら行政に「お願いします。」となる。
ルールを決めることは大事であり、それ以上に守れるか、それをどう管理（守らない人の対処等）するかが大切だと思う。難しい事です。
小さい公園は、沢山ありルールがごちゃごちゃになるといけないし、最近は騒音問題もあるので、小さい公園は防犯関連をして、最低限の物を揃えれば、少しは利用者が増えると思う。それぐらいが1番良いと思う。あと大きな枠組みのルールは行政がバシッと決めれば良いと思う。
学校で児童や生徒が決めた方が子どもも従いやすい。
行政が決めるが、地域の意見を聞いて、取り入れる努力をする。

問16 公園で次のような新しい活用ができれば、やってみたいと思いますか。当てはまるもの、1つに○をつけてください。

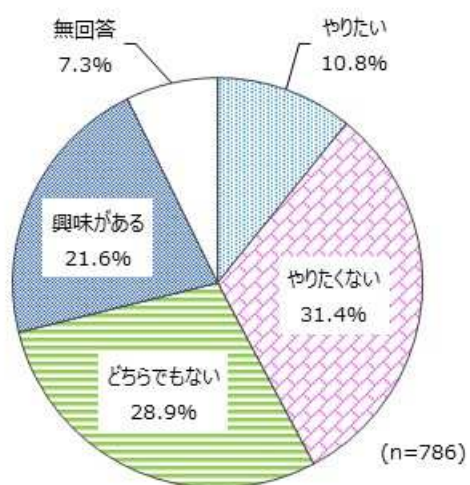
【マルシェ・フリーマーケットなどの出店】



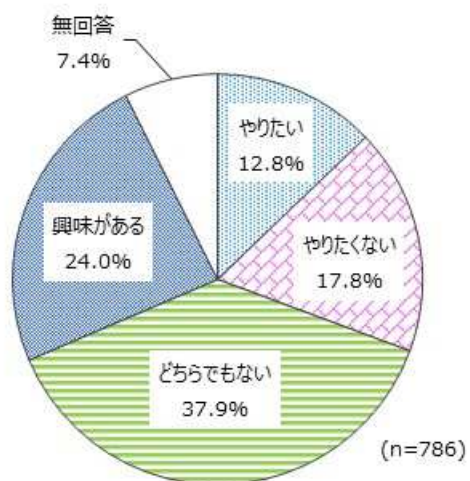
【キャンプ、バーベキュー】



【市民農園】



【地域イベント】

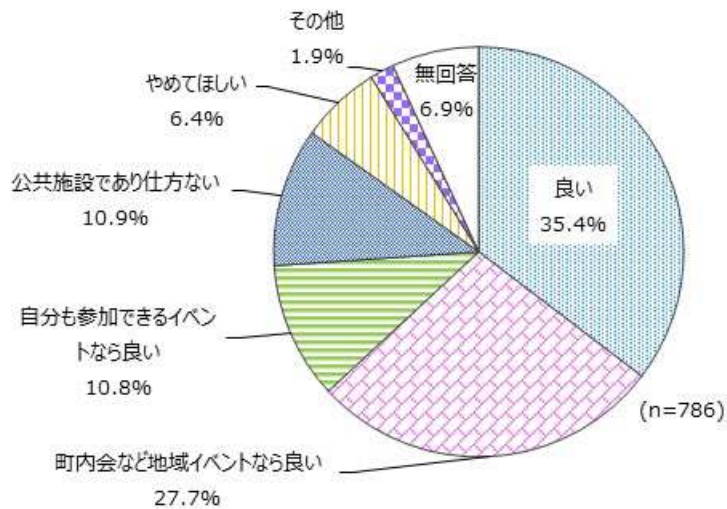


【その他】

回答	
体操・ヨガ（42）	特になし（22）
行事・イベント開催（18）	軽スポーツ（14）
ペットの利用〈ドッグラン〉（6）	のんびりできる・休める（6）
こども向けの遊び場・交流（6）	筋トレ（5）
ウォーキング（5）	野外コンサート（4）
運動会・スポーツ大会（4）	太極拳（3）
運動（3）	木陰スペースの確保（3）
カラオケ（2）	キャンプ（2）
教室開催（3）	よさこい練習ができればいい
スペースに余裕が欲しい、マナーの向上	水道で水を飲むこと
今は無理	健康遊具
花を植える	身体測定
絵を描く	花火
ドローン体験	水遊び
こども会が昔は草取りをしていた。今はしない。	
最近はおこまの遊ぶ場所として使いにくいと思う親がいるのでは？ふつうに声を出して遊べる環境だとアピールしてほしい。	
何も無いのがいいんです！ただ緑・四季折々がある！なんで次から次活用？人為的なものを作ろうとするんですか？新鮮な空気+災害時の避難場としての機能。人口がシュリンクしているので閉鎖・閉園に向けた動きをすべき。税金をメリハリもって使ってほしい。	
問 13 で書いたように公園全体を使ってサッカーや野球、ゲートボールやグランドゴルフをしているのはダメだと思う。	
各地域で話し合って、行政に上げる場合にやってみたいこと等を出し合い、できるかどうか分からないが出し合ってみる。	
小さな公園は駐車場がないため、勝手に道にとめて迷惑なことがある。フリマとかバーベキューとか荷物のかさむ物がある。イベントについては難しいと思う。近隣の住民に迷惑でもある。人がやさしくなれないこの世の中では公園そのものの必要性が…こどもの遊ぶ声でさえうるさい！という人がいるのも現実。	
公園の大きさ、広さを再考しないと利用しづらい。	
公園に人影がない。必要があればどんどん利用したら良い。	
若い時いろいろな習い事をして、公園より利用させて頂きました。でも 80 歳の後半になり、体が思う様にならなくなりました。	

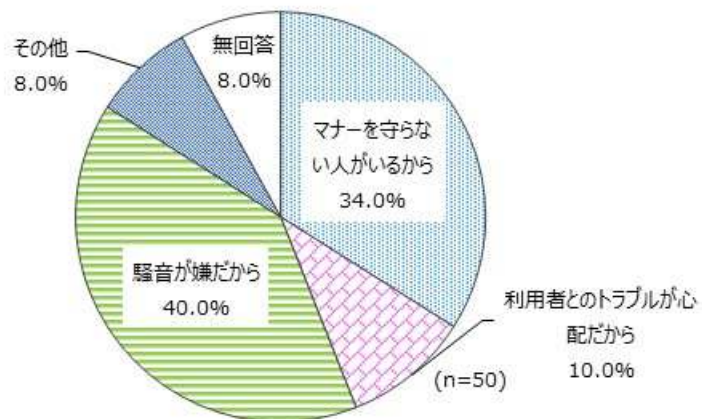
回答
小さな公園は小さな子どもたちや児童のスペースというイメージがあるので高齢者を含む大人の居場所となる様な取組があるといいなと思います。
小さな公園は、地域にあるものであり、あまり特長を出し過ぎると不特定多数の人が集まり、地域の住民が利用しづらくなる。とは言え、地域に利用ルールをまかせると、声が大きい人の意見が通りやすくなってしまう。基本的に多くの公園に共通するルールを行政が決める方が良い。富士山とコンビニのような事がおこる可能性が出てくるのではないのでしょうか。
公園が登校班集合場所なので時計を設置してほしい。
私がやるのは嫌だ生きるのに精一杯でそんな余裕はない。
災害時に利用できる設備がある公園を増やしてほしい。
デイキャンプゾーン、こどもが安全にできる焚き火などの遊び場、オープンカフェ。
子供が自転車を練習するスペースがないのであれば良いと感じた。

問１７ ご自宅の近隣の公園で問１６のような活用が行われた場合、どのように思いますか。
当てはまるもの、１つに○をつけてください。



その他	
キャンプ、BBQ はNG。	町内会でなければいい。
どれのことかわからない。	スペースや駐車場がない。
ルール等しっかり決めてあるなら良いと思う。	
近隣の住人の皆さんに迷惑にならずマナーを守って公園を利用できるのなら良いと思います。	
ゴミ、騒音など迷惑をかけないのであれば良い。	
１つ位ならいいが全ては（無理）やめてほしい。	
すること自体は良いと思うが、町内会やこども会など地域のイベントになるのであればやめてほしい。	
事前に十分な案内と交通整理などが行われ、イベントに参加しない市民の一般の生活に支障がでないよう配慮されているのであれば、良いと思います。	
子供たちが心おきなく遊べる空間にしてほしい。	
地面が土ばかりなので会場準備が大変で厳しそう。	
騒がしくないもの。	

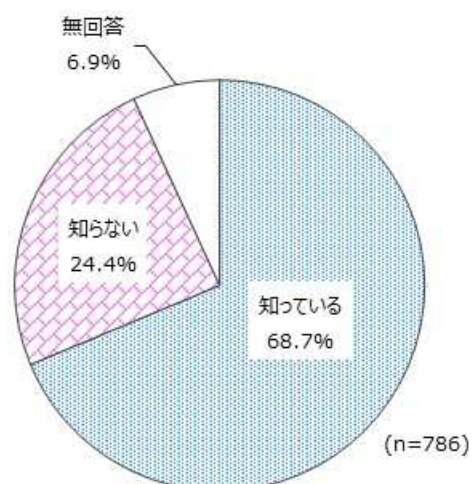
問１８ 問１７で「５ やめてほしい」と回答された方にお聞きします。「やめてほしい」と思う理由を教えてください。当てはまるもの、１つに○をつけてください。



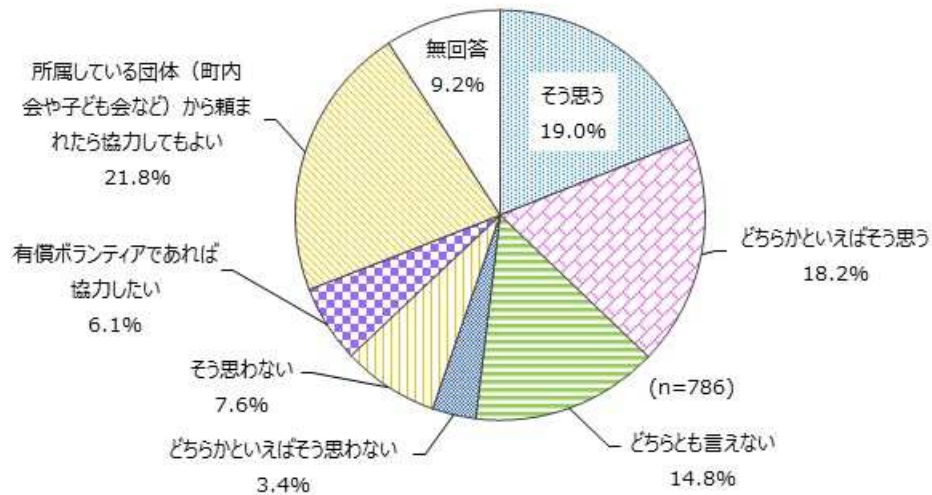
その他	
手洗い等が心配。	公園が小さいから。
騒音が嫌だから・	

「小さな公園」の管理について

問１９ 「小さな公園」の多くは、町内会や子ども会など地域が管理（除草や清掃など）を行っていることを知っていますか。当てはまるもの、１つに○をつけてください。



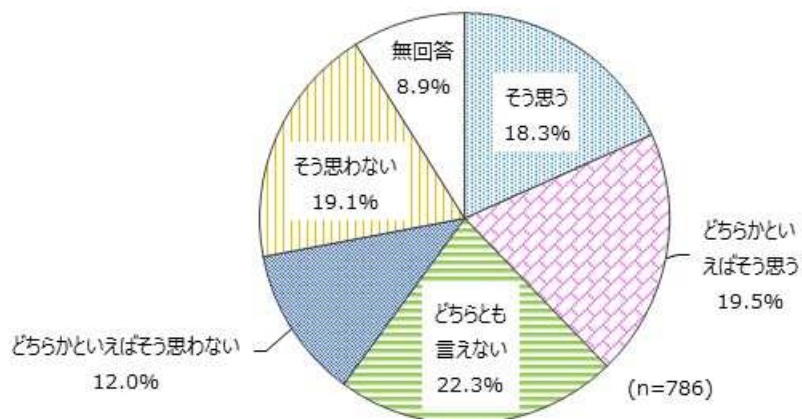
問20 あなたがよく利用する公園の管理（除草や清掃など）を頼まれた場合、協力したいと思いますか。当てはまるもの、1つに○をつけてください。



問21 人口減少社会が進行する中で、持続的に快適かつ安全に「小さな公園」をご利用いただくための方法について検討するため、ご意見をお聞かせください。

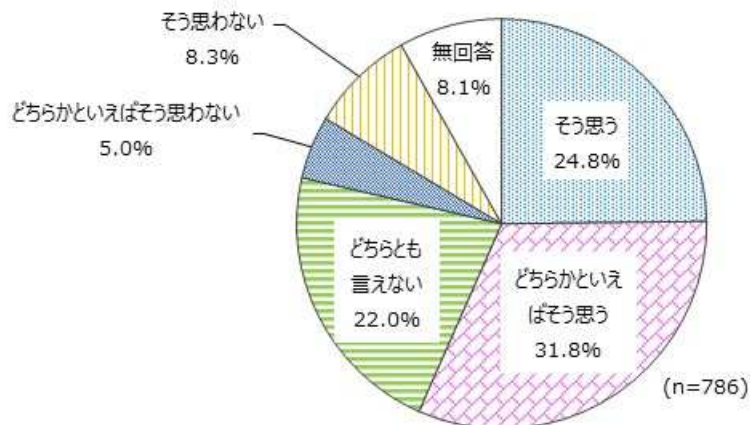
（１）「小さな公園」の再整備

利用頻度の低い「小さな公園」を統合して新たに「大きな公園」を整備するなど、公園の再整備が必要だと思いますか。当てはまるもの、1つに○をつけてください。



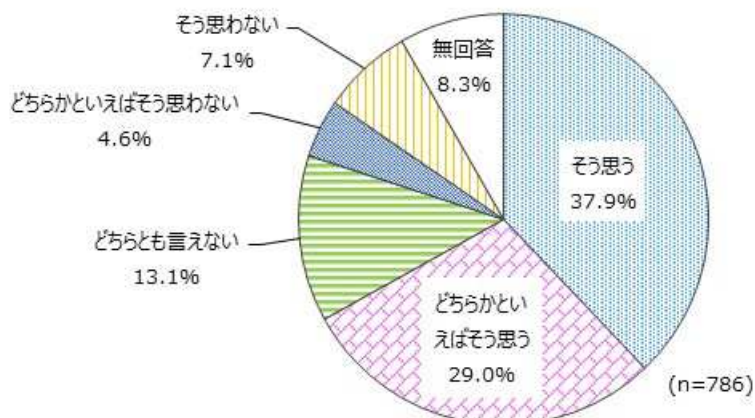
(2)「小さな公園」の管理

地域が管理する「小さな公園」は、地域で利用方法を決めていきたいと思いますか。当てはまるもの、1つに○をつけてください。

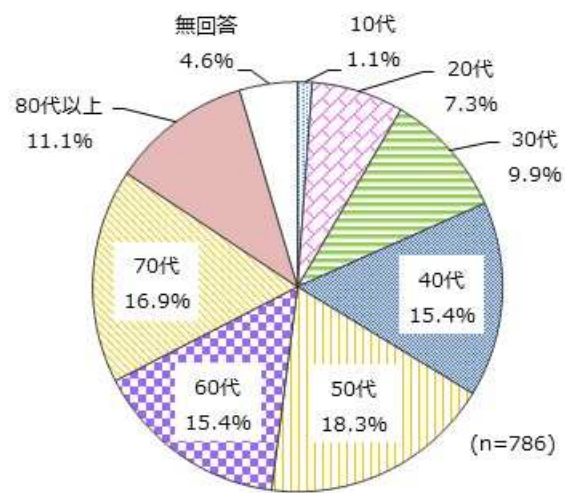


「大きな公園」について

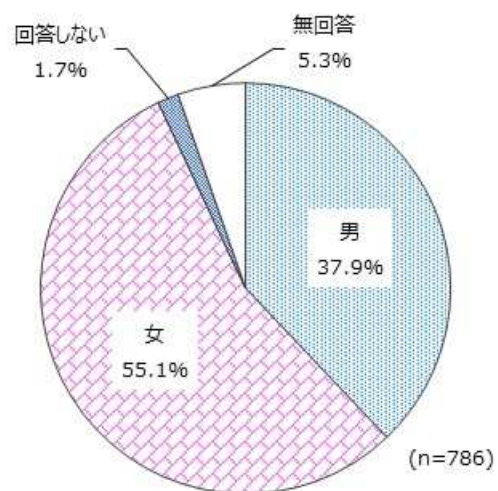
問22 「大きな公園」にカフェやコンビニを設置するなど、民間事業者等との連携により、収益確保や民間投資を呼び込むような取組を進め、収益を維持管理費に充てる仕組みを今後考えていくことが必要だと思いますか。当てはまるもの、1つに○をつけてください。



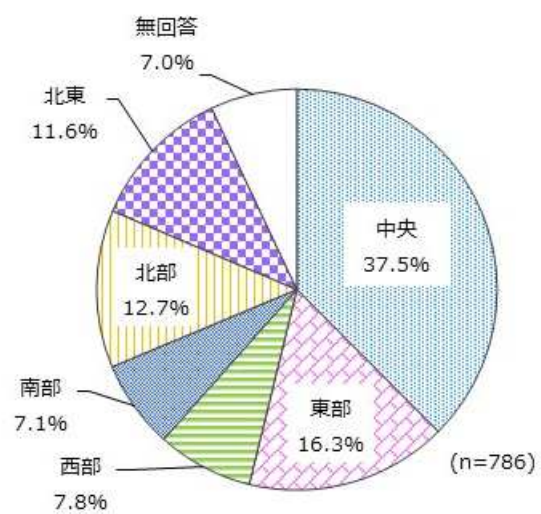
回答者の年齢



回答者の性別



回答者の居住エリア



回答者の福山市居住歴

